

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度(新規)	児童館、はまなす・くるみ保育園
事業名	保育所、児童館、幼稚園などでの相談・支援事業	
計画体系	1 - (1) - 身近で相談・援助などが受けられる体制づくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	公的施設などで子育てに関する専門相談員による相談・援助等を行います	
H19年度の取組み 【具体的内容】	児童館 幼児開放事業やこころ広場事業に来館した時に随時相談ができるように、資格を持った職員を配置 はまなす・くるみ保育園 ・保育園・児童館に配置されている子育て専門職員(有資格者)の知識経験を活用し、乳幼児開放事業(らっこひろば、こあらくらぶ、こころ広場)に合わせ、育児相談を実施 ・随時電話等による子育て相談を受付	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特筆すべき経費等はなし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし	
H20年度の取組み内容 【予定】	引き続き実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	事業も広く認知されていることから、今後も課題等を検証し、保健師等と連携しながら相談事業を展開する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	児童館、はまなす・くるみ・あつた・はまます保育園
事業名	乳幼児開放事業の拡充	
計画体系	1 - (1) - 身近で相談・援助などが受けられる体制づくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	地域の社会資源を有効活用し、身近な場所で利用できるような体制整備を行います	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<p>児童館          ころころ広場と幼児開放を幼児開放「ころころ」にリニューアルし、メイク・フレンド事業として実施</p> <p>はまなす・くるみ保育園          ・就学前の在宅幼児と親を対象に地域活動事業を実施          ・地域交流促進事業として高齢者クラブ等との世代間交流を実施</p>	
幼児開放「ころころ」	<p>・児童館の児童が利用していない月曜日から金曜日午前中の時間帯を利用して、乳幼児の子育て支援の場を確立する。</p> <p>・花川北児童館、花川南児童館、花川児童館(りんくる内)、おおぞら児童館で実施</p> <p>・月～金曜日 午前9時30分～午前11時30分          学校長期休業期間(夏・冬休み) コミセンで実施          子育てサークル開放日の実施</p>	
保育所地域活動事業	<p>子育て中の親などが気軽に集い交流できる場として保育園を活用し、地域における子育て家庭の子育てに関する相談、援助等が受けられるような体制整備を行う事業</p> <p>・はまなす保育園で「らっこひろば」を実施(開催件数 43回)          ・くるみ保育園で「こあらくらぶ」を実施(開催件数 42回)</p>	
地域交流促進事業	<p>色々な人々との交流を通して子どもが社会性を身につけるため高齢者との交流を実施する事業</p> <p>・くるみ保育園で「世代間交流」を実施(開催件数 5回)</p>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>児童館          専任指導員賃金 267万円、報償費 6万円、需用費 32万円、備品購入費 13万円          合計 318万円</p> <p>はまなす・くるみ保育園          【経費】 報償、消耗品、保険など全体で41万4千円          (国交付金対象だが、他の項目と一括算入のため特定できず)          【人工】 保育士1.5人×85日(開催半日+準備半日) = 127人/日</p>	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<p>・厚田・浜益など過疎地域での子育て支援のあり方を検討する必要性を認識しており、H19に策定した保育所再編プランにおいて位置づけた。(社会福祉審議会においてもその必要性が議論され答申された。)</p> <p>・幼児開放「ころころ」について、子育て支援サークル活動を実施している団体の利用が少なかった。</p>	
H20年度の取組み内容 【予定】	<p>児童館          子育て支援サークル活動団体が気軽に利用できる施設として開放し、子育て支援を拡大する。</p> <p>くるみ・はまなす保育園 引き続き実施          厚田・はまます保育園          へき地保育所の両園においても地域活動(園でのひろば事業)を開始(地域でのニーズがまだ不明なため当面月1回のペースで実施)</p>	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<p>児童館 参加者の要望等を参考にしながら引き続き実施予定          はまなす・くるみ保育園 参加者の要望等を参考にしながら引き続き実施予定          厚田・はまます保育園          地域ニーズの把握に努め、必要に応じ回数増を図りたい。その際は、一律に行うのではなく、あくまで各地域の実情に応じて取り進める。</p>	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度 (新規)	こども室 (子育て支援課)
事業名	子育てに関する総合窓口の整備	
計画体系	1 - (1) - 子育てに関する総合相談支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもに関する相談・各種手続き等の窓口を総合的に整備し、子育て等に関する適確でわかりやすい情報提供を行います	
H19年度の取組み 【具体的内容】	出生の手続きのため窓口に来た保護者に産後子育てサポート事業の案内を連動するなど、さらなる連携を図った。	
産後支援ヘルパー派遣事業 【産後子育てサポート事業】	出産直後の家庭に保育士、保健師、子育て経験のある人等を派遣し、育児又は家事の支援を行う事業。核家族化が進み、出産直後の母子の世話を身内に期待できない家族が増加している現在において、心身ともに負担の大きい産後の母親を支援することにより、精神的にも安定した状態で子育てができるようにすることを目指す。	
かかった経費は？ (又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	組織の現状においては、効率的な窓口体制となっている。教育委員会との連携も善処しているが、これ以上の連携は組織の課題ともいえる。だが、組織見直しは、連携が密になる分野がある一方で疎遠になる分野が生じてしまうので、慎重に行うべきものと考えられる。	
H20年度の取組み内容 【予定】	現在の窓口体制の維持に努めるほか、母子相談などでは、こども相談センター、こども家庭課、福祉総務課さらには保健推進課など多数の関係課が生ずることがあるので、これまで以上に連携に配慮する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	組織改編については課題で記述したとおり、輻輳する課題が存在することから慎重を期するが、効率的総合的な窓口体制の調査研究は、機を失うことのないよう常日頃から続けていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	子育て支援課
事業名	子育てガイドブックの充実	
計画体系	1 - (1) - 子育てに関する総合相談支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育てガイドブックを、より利便性のある内容として作成します	
子育てガイドブック	市の子育てに関する施策全般のほか、子どもに関する様々な機関や問い合わせ先、各種制度の手続きなど、市が発行している子育て総合情報誌	
H19年度の取組み 【具体的内容】	・子育てネット会議の協力により、2008年度版のガイドブックを発行・配布 (4,000部) ・企業協賛広告の掲載 (3社)	
いしかり子育てネット会議	子育てに関わる行政機関やNPO法人さらには育児サークルなど子育て支援団体が一同に会する会議で、H17年度から実施。年4回の意見交換会のほか、情報誌「子育てネットマガジン」(毎月発行)、「子育てガイドブック」(毎年発行)など、関係団体間の情報の共有や連携、さらには情報発信の一元化などを目的とする。	
かかった経費は？ (又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 印刷製本費 24万円、イラスト謝金 1万円 【人工】 0.2人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	子育て情報は市民ニーズも高く、新しくかつ正確な情報提供に努めるために毎年発行しているが、そのための財源である企業協賛が不足している。	
H20年度の取組み内容 【予定】	さらなる企業協賛を募るとともに、子育てネット会議等を通じて、子育て家庭にとって有益な民間情報を掲載する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	市民によるイラスト掲載から、子育て中の親によるコラムなど、より利用者の共感を得られるガイドブック作成を目指す。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	子育て支援課
事業名	子育てに関する情報の充実	
計画体系	1-(1)- 子育てに関する総合相談支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育てに関する情報収集や情報提供について、関係機関と連携を図りながら、総合的に把握し、子育てカレンダーや情報機器を活用した情報提供等を進めます	
子育てカレンダー	乳幼児健診や市をはじめ各種子育て支援団体の活動日や行事など、月間のスケジュールをカレンダー化したもの。子育て支援センターで取りまとめて発行しているほか、子育てネットマガジンにも掲載している。	
H19年度の取組み 【具体的内容】	子育てネットマガジン(月刊)に子育てカレンダーを掲載	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 直接経費は些少のため補足せず 【人工】 0.15人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし	
H20年度の取組み内容 【予定】	子育てネットマガジンの毎月発行とマガジン・カレンダーの市ホームページ掲載	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	情報提供の手法についてはより入手しやすい工夫に努める。 (例) 毎月の子育てカレンダーのメール配信など	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	こども相談センター
事業名	心のケア事業の実施	
計画体系	1-(1)- 地域子育て支援センター事業の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育て中の親等の育児不安等を軽減するため、関係機関と連携し、支援センターの増設、心の相談・助言事業を行います	
H19年度の取組み 【具体的内容】	・臨床心理士1人を配置し、週1回個別のカウンセリングを実施 ・子育て支援センターにおいて、グループカウンセリングを計8回実施	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	臨床心理士報酬 109万2千円、費用弁償 14万4千円、その他ファシリテーターとして家庭児童相談員1人、保健師1人参加	
ファシリテーター	参加者の心の動きや状況を見ながら、実際にプログラムを進行して行く人のことをファシリテーター(促進者)と呼ぶ。ファシリテーターの媒介によって、参加者の本来的な学びが促進され、体験したことを次のステップへと結びつけることが容易になる。	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	これまでのグループカウンセリングの参加者は、育児に積極的で関心のある保護者が比較的多いが、育児支援が必要と思われる保護者への参加働きかけが難しい。	
H20年度の取組み内容 【予定】	全8回実施予定	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	保健推進課との連携により、育児支援が必要と思われる保護者への参加の働きかけを推進していく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成21年度(新規)	子育て支援課
事業名	子ども支援総合センター整備事業	
計画体系	1-(1)- 子どもに関する支援サービスの拠点づくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	すべての児童の健やかな育成にむけ、総合的に支援する施設を整備します	
H19年度 of 取組み 【具体的内容】	特になし	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	市財政の逼迫状況から、施設整備は難しい。また、市役所内の業務は相互に関連性が深いので、子どもに関して総合化して庁舎から分離した場合、別の観点からデメリットになることが考えられる。	
H20年度 of 取組み内容 【予定】	H21年度に実施するのであればH20年度中に取り組みことになるが、上記課題から、その段階まで至っていない。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	現在、3市村合併後の組織見直しを段階的に実施しており、H23年度の体制を最終として一連の組織見直しを終了する予定である。当該センターについても再度効率性・効果をあらためて検証する必要があり、場合によっては当該事業の計画計上も再考せざるを得ない。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	子育て支援課
事業名	産後支援ヘルパー派遣事業	
計画体系	1-(2)- 育児支援家庭訪問事業の実施	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	産後の体調不良等で家事や育児が困難な核家族家庭等にヘルパー等を派遣し、母子の身の回りの世話・育児を支援します	
産後支援ヘルパー派遣事業 【産後子育てサポート事業】 (再掲)	出産直後の家庭に保育士、保健師、子育て経験のある人等を派遣し、育児又は家事の支援を行う事業。核家族化が進み、出産直後の母子の世話を身内に期待できない家族が増加している現在において、心身ともに負担の大きい産後の母親を支援することにより、精神的にも安定した状態で子育てができるようにすることを目指す。	
H19年度 of 取組み 【具体的内容】	生後6か月までのいる家庭に4時間分(双子の場合は8時間分)のファミリー・サポート・センター無料券を配布。委託先は子育て支援ワークスぽけっとママ	
ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援策で国が重点化している特定14事業メニューの一つ。子育ての援助をしてほしい人(利用会員)と子育ての援助をしたい人(援助会員)が会員となり、お互いに助け合いながら活動する会員組織。運営は国の交付金のほか会員の会費で賄われており、利用会員は援助会員に一定の謝金を支払う仕組み	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 43,400円(62時間分) 【人工】 0.06人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	予定していたよりも利用が少なかったが、親世帯と同居、または実家が近いなどの産後における支援の手を必要としている家庭は限られている。実際には利用した20家庭のうち13家庭が保健推進課で要支援ケースとして扱っていることから、産後支援としての効果はあったと考えられる。	
H20年度 of 取組み内容 【予定】	引き続き継続して実施する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	産後支援の一つとして、上の子の一時預かりを希望される方も多く、6か月までの赤ちゃんだけでなく、兄弟の預かりなどで産後支援も可能だというPRなど、ファミリー・サポート・センター事業をより身近に効果的に利用できるようにつなげる。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	子育て支援課
事業名	乳幼児健康支援一時預かり事業(派遣型一時保育)	
計画体系	1-(2)- 乳幼児健康支援一時預かり事業の拡充	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	保護者の傷病・入院等により緊急・一時的に保育が必要な乳幼児・児童の自宅に、ヘルパー等を派遣し保育を補助します	
乳幼児健康支援一時預かり事業 【派遣型一時保育】	保護者の傷病・入院等により緊急・一時的に保育が必要な乳幼児・児童の自宅に、ヘルパー等を派遣し保育を補助する事業	
H19年度の取組み 【具体的内容】	H19年7月よりファミリー・サポート・センター事業を実施	
ファミリー・サポート・センター事業 (再掲)	子育て支援策で国が重点化している特定14事業メニューの一つ。子育ての援助をしてほしい人(利用会員)と子育ての援助をしたい人(援助会員)が会員となり、お互いに助け合いながら活動する会員組織。運営は国の交付金のほか会員の会費で賄われており、利用会員は援助会員に一定の謝金を支払う仕組み	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 150万円(委託先:子育て支援ワーカーズぼけっとママ) 【人工】 0.31人工	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	ひとり親家庭の場合など、保護者の病気や出産などで一時的に養育できない時には24時間の託児サービスが必要となる。	
H20年度の取組み内容 【予定】	サポート会員(ファミリー・サポート・センター)によるショートステイ 対象は1歳半から小学生まで。期間は原則3泊4日以内(最大6泊7日)	
こどもショートステイ事業 【子育て支援短期利用事業】	保護者の社会的理由(病気・出産・看護・事故・災害・冠婚葬祭・出張など)により一時的に養育できなくなった場合に、児童養護施設や里親宅において、宿泊付きで子どもの食事や身の回りのお世話をする。利用者負担は事業費の1/2相当額。ただし、生活保護世帯等については減免することができる。	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	これまでの問合せのうち、障がい児の預かりについてもニーズが高く、支援体制の強化とサポート会員のスキルアップが望まれている。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	保健推進課																
事業名	子育てスタッフ(2~3名一組)による電話・訪問支援																	
計画体系	1-(2)- 子育てスタッフ事業																	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	在宅の子育て家庭の様々な負担感を軽減するため、保健・福祉関係と連携し、電話相談や家庭訪問などを行い支援します																	
H19年度の取組み 【具体的内容】	H19年7月より赤ちゃん訪問事業を開始。各種子育て支援事業の紹介をし、必要な者については産後子育てサポート事業やファミリー・サポート・センター事業の利用につなげた。																	
赤ちゃん訪問事業	保健師、助産師等の専門職が生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、母子の心身の状況や養育環境等の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供につなげる。事業の実施主体は市町村																	
産後支援ヘルパー派遣事業 【産後子育てサポート事業】 (再掲)	出産直後の家庭に保育士、保健師、子育て経験のある人等を派遣し、育児又は家事の支援を行う事業。核家族化が進み、出産直後の母子の世話を身内に期待できない家族が増加している現在において、心身ともに負担の大きい産後の母親を支援することにより、精神的にも安定した状態で子育てができるようにすることを目指す。																	
ファミリー・サポート・センター事業 (再掲)	子育て支援策で国が重点化している特定14事業メニューの一つ。子育ての援助をしてほしい人(利用会員)と子育ての援助をしたい人(援助会員)が会員となり、お互いに助け合いながら活動する会員組織。運営は国の交付金のほか会員の会費で賄われており、利用会員は援助会員に一定の謝金を支払う仕組み																	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 専任の訪問助産師(臨時職員)人件費117万円、他消耗品3万9千円																	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	妊娠・出産・産褥期・就園前・就園後など、子どもの成長に応じた支援があり、連続してサポートする体制が必要																	
H20年度の取組み内容 【予定】	<p>赤ちゃん訪問事業を継続実施</p> <p>・実施数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象数</th> <th>訪問</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19実績</td> <td>466</td> <td>402</td> <td>86.3%</td> </tr> <tr> <td>H20予定</td> <td>400</td> <td>360</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>H21予定</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	対象数	訪問	実施率	H19実績	466	402	86.3%	H20予定	400	360	90.0%	H21予定	400	400	100.0%
年度	対象数	訪問	実施率															
H19実績	466	402	86.3%															
H20予定	400	360	90.0%															
H21予定	400	400	100.0%															
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	赤ちゃん訪問事業 産後子育てサポート事業 ファミリー・サポート・センター事業へと、地域全体で子育て家庭をサポートする体制を構築したい。																	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度(新規)	子育て支援課
事業名	地域の育児サークル・NPO法人を支援し協働による事業	
計画体系	1-(3)- 地域の育児支援団体やNPO法人への支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	親子が気軽に集まれる「つどいの広場」などの運営・企画をNPO等と協働で実施します	
地域子育て支援拠点事業	子育て中の親などが気軽に集い交流できる場で、育児の不安や疑問、悩みの問題解決の糸口になるような機会を提供する事業。常設のひろばを開設する「ひろば型」、専用スペース等での専任保育士による「センター型」がある。	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<p>昨年度に引き続き市の委託事業として「つどいの広場(ひろば型)」と「地域子育て支援センター」(センター型、小規模型)を開設</p> <p>つどいの広場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>名称:0123歳児と親のための子育て広場「り」とるきっず</li> <li>場所:花畔2条1丁目 北ガスプラザ石狩ビル1階 コムステプラザ</li> <li>事業主体:NPO法人 こども・コムステーション・いしかり</li> <li>事業内容:子育て相談(23件)、あそびのひろば(延べ3,398人)、まなびのひろば(延べ332人)、あずかりひろば(延べ11人)</li> </ul> <p>地域子育て支援センター</p> <p>石狩市地域子育て支援センターえるむ(えるむ保育園内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場所:石狩市花川北2条5丁目63</li> <li>事業主体:社会福祉法人 いしかり福祉会 えるむ保育園</li> <li>事業内容:子育て相談(279件)、絵本の貸し出し(153冊)、子育てサロン(延べ2,850人)、よちよちサロン(延べ667人)、子育て講座(延べ309人)、保育園の行事参加(延べ265人)、子育てサークル(延べ614人)</li> </ul> <p>石狩市地域子育て支援センターくるみの木広場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場所:石狩市花川南4条3丁目2(南線光の子保育園内)</li> <li>事業主体:社会福祉法人 陽光福祉会 南線光の子保育園</li> <li>事業内容:園開放(延べ2,709人)、子育て相談(307件)</li> </ul>	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>つどいの広場(ひろば型)</p> <p>委託費:436万4千円(うち国・道補助 290万9千円、市一般財源 145万5千円)</p> <p>地域子育て支援センター(センター型)</p> <p>石狩市地域子育て支援センターえるむ</p> <p>委託費:777万3千円(うち国・道補助 518万2千円、市一般財源 259万1千円)</p> <p>石狩市地域子育て支援センターくるみの木広場(小規模型)</p> <p>委託費:251万3千円(うち国・道補助 167万5千円、市一般財源 83万8千円)</p>	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	厚田・浜益など過疎地域での子育て支援のあり方を検討する必要性を認識しており、H19年に策定した保育所再編プランにおいて位置づけた。(社会福祉審議会においてもその必要性が議論され答申された。)	
H20年度の取組み内容 【予定】	<p>つどいの広場(ひろば型)</p> <p>新たに地域の子育て力を高める取組みの実施(2事業)</p> <p>厚田区におけるサテライト型ひろばの開設(あつた子育て広場)</p> <p>中高生の子育てボランティア養成事業の実施</p> <p>地域子育て支援センター(センター型)</p> <p>石狩市地域子育て支援センターえるむ えるむの森保育園にて実施</p> <p>石狩市地域子育て支援センターくるみの木広場(小規模型)</p>	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	センター型小規模型については、H21年度まで(国実施要綱による)	



計画での予定年次 / 担当課	平成19年度(新規)	子育て支援課
事業名	子育てサポーター養成・地域人材活用事業	
計画体系	1-(3)- 地域サポーターの養成	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	地域の保育士・看護師等の資格を有する人や子育てを終えて、ゆとりのある人を発掘・養成し、子育て家庭等をサポーター支援します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	H19年7月よりファミリー・サポート・センター事業を実施 サポート会員数55名(H20年3月末、両方会員含む) サポート会員養成のための講習会を3回実施(延べ15日間、27人参加) スキルアップ講座・交流会の実施	
ファミリー・サポート・センター事業 (再掲)	子育て支援策で国が重点化している特定14事業メニューの一つ。子育ての援助をしてほしい人(利用会員)と子育ての援助をしたい人(援助会員)が会員となり、お互いに助け合いながら活動する会員組織。運営は国の交付金のほか会員の会費で賄われており、利用会員は援助会員に一定の謝金を支払う仕組み	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 150万円(委託先:子育て支援ワーカーズぼけっとママ) 【人工】 0.31人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	障がい児、産後支援にもきめ細かく対応できるようにスキルアップ講座「障がいのある子どもの預かり」「赤ちゃんケア・産後サポート」の2講座を実施し、3回目からは必修科目とした。また、こども発達支援センターでの実習も新設した。	
H20年度の取組み内容 【予定】	引き続き継続して実施する。 サポート会員養成のための講習会を2回実施(6月と10月) スキルアップ講座・交流会の実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	ショートステイが新たにスタートしたが、宿泊を伴う支援はサポート会員の家族の理解を得られない場合も多く、夫婦や里親などにサポート会員を拡大し、受け皿を確保する必要がある。	
こどもショートステイ事業 【子育て支援短期利用事業】 (再掲)	保護者の社会的理由(病気・出産・看護・事故・災害・冠婚葬祭・出張など)により一時的に養育できなくなった場合に、児童養護施設や里親宅において、宿泊付きで子どもの食事や身の回りのお世話をする。利用者負担は事業費の1/2相当額。ただし、生活保護世帯等については減免することができる。	

計画での予定年次 / 担当課	平成19年度(新規)	子育て支援課
事業名	NPO法人等を核とした子育て支援拠点センターの創設	
計画体系	1-(3)- 子育て支援ネットワークづくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	育児支援団体・NPO法人・主任児童委員等との連携体制を築き、子育て家庭を支援します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	いしかり子育てネット会議を4回開催。参加者による意見交換に加え、毎回1時間程度の勉強会(ゼミナール)を新たに実施 「こどもの権利」(5月開催、講師:三国室長) 「子育て、子育てを支える輪」(8月開催、講師:えるむ保育園坪田園長) 「お知恵拝借 - 次世代育成 その先の一步へ」(11月開催、講師:こども・コムステーション・いしかり藤原理事長) 「これからの石狩の子育て支援とは～市民の力をどうひきだす～」(2月開催、講師:子育て支援ワーカーズぼけっとママ三浦代表)	
いしかり子育てネット会議 (再掲)	子育てに関わる行政機関やNPO法人さらには育児サークルなど子育て支援団体が一同に会する会議で、H17年度から実施。年4回の意見交換会のほか、情報誌「子育てネットマガジン」(毎月発行)、「子育てガイドブック」(毎年発行)など、関係団体間の情報の共有や連携、さらには情報発信の一元化などを目的とする。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 ネット会議等託児謝金 31,350円 【人工】 0.25人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	ネット会議や協働事業である「こどもまつり」を活性化させるためにも、民間企業の参画が増えることが望ましい。	
H20年度の取組み内容 【予定】	子育てネット会議の開催、ゼミナールの実施(年4回) 情報誌「子育てネットマガジン」(年12回)、「子育てガイドブック」(年1回)の発行 「こどもまつり子育てメッセいしかり」への協力 テーマ「子育てパパ応援」「セルフエスティーム」	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	子育て家庭も主体となれるような、参画方法を模索、検討していく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	こども家庭課
事業名	認可保育所の整備事業	
計画体系	1-(4)- 多様化する保育ニーズの体制整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	待機児童及び超過入所を解消し、子どものよりよい保育環境にむけ、認可保育所を整備します	
認可保育所	児童福祉法に基づく児童福祉施設。施設の広さ、保育士の数、給食設備などの一定の基準をクリアして認可された保育所。保護者が仕事や病気などの理由で0歳から小学校就学前の子どもの保育ができない場合に、子どもを預かって保育する。地方自治体が運営している保育所(公営)と社会福祉法人などが運営する保育所(私立)があり、認可保育所は公費により運営されている。	
H19年度の取組み 【具体的内容】	・H19年4月緑苑台地区に定員60名の認可保育所を開設 ・H20年4月認可保育所1園(定員90名)開設に向けて設置法人及び北海道と協議	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人工】 保育所開設事務 0.3人工 【事業費】 社会福祉法人保育所建設費交付金 8,998万円	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	国の補助制度の見直しにより、当初予定されていなかった建設費に対する市の負担が発生(約3千万円)	
H20年度の取組み内容 【予定】	待機児童対策としての保育所整備計画は完了	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	新規保育園の開設により、待機児童の解消が当面図られると考えるが、今後、新たな保育所建設には至らない程度の待機が再び発生する可能性はある。このような少数の待機児童を解消する新たな方策の検討を始める。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	こども家庭課
事業名	延長保育事業の見直し(開所時間等)	
計画体系	1-(4)- 多様化する保育ニーズの体制整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	多様な保育ニーズに対応するため、延長保育の時間帯を見直します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	・H19年4月新設保育園での延長保育の実施 ・H20年4月開設予定の新設保育園において、夜間延長保育(2時間)の実施について設置法人と協議を行った。	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	協議及び要綱改正等事務 0.1人工	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	夜間延長の拡大は、保育士や園児への食事提供など実施体制を整える必要があることから、コンスタントな利用実績がないと、実施が難しい面がある。	
H20年度の取組み内容 【予定】	今年初めて夜間2時間延長を実施する保育園ができたことから、まず保護者の反応や利用ニーズを注視したい。	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	国補助の制度の改正により、今年度から新たに事業所内保育施設に委託して実施する時間外保育も国補助の対象となった。この手法も可能性範囲に含め、有効な方策を検討したい。	
事業所内保育施設	病院、会社、工場などに設置され、事業所の従業員の子どものみを対象とした認可外保育施設	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課
事業名	一時保育事業の拡充	
計画体系	1 - (4) - 多様化する保育ニーズの体制整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	冠婚葬祭、保護者の傷病、入院等により、緊急・一時的に保育を必要とする児童等を保育します	
一時保育事業	児童が、断続的に保育に欠けるとき及び緊急かつ一時的に保育が必要なとき、又は育児に伴う心理的・肉体的負担を解消するために行っている一時的保育。市内3か所の保育所(くるみ保育園、はまなす保育園、南線光の子保育園)で実施	
H19年度の取組み 【具体的内容】	はまなす、くるみ、南線光の子保育園及び新たに緑苑台子どもの家保育園4園において、一時保育事業を実施(総体年間延利用児童数 1,618人)	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	(事業費及び利用児童数) ・はまなす保育園 1,325,240円(人件費・需用費) 182人 ・くるみ保育園 1,393,566円(人件費・需用費) 64人 ・南線光の子保育園 1,890,000円(交付金) 1,020人 ・緑苑台子どもの家保育園 810,000円(交付金) 352人	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	新規実施の保育園での実績が見込数を大きく下回ったほか、実施園全てで前年の実績を下回った。これは保育園新設による待機児童の減少、あるいはファミリー・サポート・センターなど多様な一時的保育サービスの新たな展開が影響しているとも推測される。	
H20年度の取組み内容 【予定】	・昨年に引き続き4園で実施 ・実施園への市からの交付金は、H19年度の改正により利用実績に応じて交付されるので、不必要な公費支出には当たらないが、一時的保育ニーズをもっと細かく把握する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	今年度のニーズの把握をもとに、事業のあり方を検討することになるが、費用対効果を損なわない限り、多様なサービス形態の維持・創出は、子育て家庭にとって利便性につながることを基本認識として取り組みたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成19年度(新規)	こども家庭課
事業名	休日保育事業の実施	
計画体系	1 - (4) - 多様化する保育ニーズの体制整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	日曜・祝日の保護者の勤務等による保育ニーズに対応します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	H20年4月開設予定の新設保育所での休日保育事業の実施について、設置法人与具体的協議を行った。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	実施要綱、周知パンフ等の作成で0.1人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	定員や利用対象者の取扱い	
H20年度の取組み内容 【予定】	今年度からの新規事業のため、PRを図り広く周知する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	当面実施状況の推移をみる。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課
事業名	病後児預かり保育事業(派遣型)	
計画体系	1-(4)- 多様化する保育ニーズの体制整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	保育所等に通所中の児童等が病気の回復期であり、集団保育の困難な期間、自宅にヘルパー等を派遣し保育します	
病後児預かり保育事業(派遣型) 【病後児保育事業】	病気回復期にあって、まだ保育所等には通えない児童を保育士等が一時的に保育を行う事業。事前に登録を行い、必要となったときに市に申し込む。市内の幼稚園、認可保育所、へき地保育所、認可外保育所及び放課後児童会に通所する小学校低学年(3年生)までの児童が利用できる。なお、まだ治療が必要な病中児は対象とならない。	
H19年度の取組み 【具体的内容】	病後児保育派遣型をNPO法人北海道子育て支援ワーカーズに委託して実施。また、H20年4月新設保育園での施設型の実施について設置法人と協議を行った。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	委託料 4.8万円(6件) 【単価契約】 5時間未満 5,500円 5時間以上 10,500円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	派遣型の利用が少ないのは、対象児童の自宅等での保育となるため、自宅へ入られることの抵抗感等が影響しているものと推測される。施設型の実施に伴い廃止を想定していたが、施設型と違った利便性も皆無ではないため、当面の継続も検討	
H20年度の取組み内容 【予定】	派遣型と並行し、今年度から新設保育園内において施設型(定員4名)を実施。新規事業のため、PRを図り広く周知する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	施設型の開設により、施設型と派遣型の利用の推移を見定めた上で、今後のあり方を検討する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度(新規)	子育て支援課、こども家庭課
事業名	教育・保育計画の公表、情報提供	
計画体系	1-(4)- 幼稚園・保育所の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもを主体とする保育や多様な保育ニーズへの対応等、充実に努めます	
教育・保育計画	各幼稚園・保育園ごとの年間計画。それぞれ内容等について国が定めている。(幼稚園教育要領、保育所保育指針)	
H19年度の取組み 【具体的内容】	子育て支援課、こども家庭課 ・市HP「子育て便利帳」、子育てガイドブックによる幼稚園と保育所の情報提供 ・幼稚園ガイド、保育所ガイドの作成・配布(1月)	
子育てガイドブック (再掲)	市の子育てに関する施策全般のほか、子どもに関する様々な機関や問い合わせ先、各種制度の手続きなど、市が発行している子育て総合情報誌	
幼稚園ガイド・保育所ガイド	それぞれ幼稚園(5園)、保育園(へき地保育所や認可外保育所含む19園)の園ごとの概要や費用などをまとめた冊子	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	子育て支援課 【人工】市HP「子育て便利帳」の更新と幼稚園ガイドブックの作成で0.1人工 【経費】直接経費は些少のため補足せず こども家庭課 【人工】保育所ガイドの作成で0.1人工 【経費】直接経費は些少のため補足せず	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	子育て支援課 幼稚園ガイドの配布は、本来ならば園児募集時期(10月頃)が望ましいが、子育てネットマガジン9月号にいち早く園児募集に関する特集記事を載せていたため、従来どおり1月に作成・配布を行っていた。	
H20年度の取組み内容 【予定】	子育て支援課、こども家庭課 市の広報やホームページによる情報の提供と、幼稚園ガイド・保育所ガイドによる幼稚園、保育所等に関する情報の提供を引き続き実施する。 子育て支援課 園児募集時期に合わせて幼稚園ガイドのニーズが高まっており、その内容も最新のものを求める保護者が多いため、園児募集時期にさきがけて9月に新年度版を作成・配布する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	子育て支援課 子育てガイドブックは、市内の企業に協賛してもらうなどして毎年発行していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課、こども家庭課
事業名	教員・保育士の研修	
計画体系	1 - (4) - 幼稚園・保育所の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	よりよい保育のために、教員・保育士の研修を充実します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<p>子育て支援課 私立幼稚園振興会の研修は、H19年度は行われなかった。</p> <p>こども家庭課 保育所連絡協議会で年3回研修会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コマは廻せば廻すほどに澄む」(講演) 6月実施</li> <li>・「子どもが楽しく自己発揮できる造形活動」(実技指導) 9月実施</li> <li>・保育士等先進地視察研修(北海道立乳児院等) 10月実施</li> </ul>	
石狩市私立幼稚園振興会 石狩市保育所連絡協議会	それぞれ、市内の幼稚園、保育園(へき地保育所含む)による全市の連絡協議会。主に課題研究や幼稚園教諭あるいは保育士の資質向上のための研修に取り組んでいる。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	子育て支援課 こども家庭課	なし 研修用講師謝金 7万円(市費計上)
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	子育て支援課 こども家庭課 特になし	<p>幼保の連携を取り進めていく必要があるが、幼稚園教員と保育士の枠を超えての研修・交流は難しい現状にある。また、それぞれの幼稚園において教育方針が異なるため、幼稚園間においても求める研修内容に相違があるように思われる。</p>
H20年度の取組み内容 【予定】	子育て支援課 こども家庭課	<p>市内5つの私立幼稚園について、それぞれ特色ある教育方針を持つ市内私立幼稚園の全園が必要とする共通の課題を内容とした研修について、そのような研修の必要性の有無も含めて検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所連絡協議会 (年3回)</li> <li>実技研修 6月実施予定</li> <li>講演会 9月実施予定</li> <li>先進地視察研修 10月実施予定</li> </ul>
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	子育て支援課 こども家庭課	<p>市内5幼稚園の合同研修が可能かどうか検討した上で、保育所との合同の研修についても検討していく。</p> <p>今後も市保育所連絡協議会で検討の上、保育士等の要望に応じた内容の研修を実施していきたい。</p>

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	子育て支援課、こども家庭課
事業名	幼稚園・保育所との多機能化に向けての検討	
計画体系	1-(4)- 幼保一体化の研究	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	幼稚園と保育所の多機能化や役割分担等を研究します	
H19年度の実践 【具体的内容】	厚田・浜益区における保育園の持つ機能を活用し、地域性を考慮した子育て支援のあり方を検討した。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特筆すべき経費等はなし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	単に幼・保を統合するのではなく、地域の子育てに係わる関係機関との連携を進める機能を含めた総合的な子育て支援の中核施設についても検討を進めていく必要がある。	
H20年度の実践内容 【予定】	厚田区、浜益区において、就学前の子を持つ親子を対象に毎月1～2回程度、園の行事を通じて、子育て親子が交流するひろば(保育所地域活動事業)を実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	今年度から実施のひろば(保育所地域活動事業)については、参加者のニーズを踏まえ、地域の実情にあった事業展開を目指す。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課										
事業名	認可外保育所等への助成や資質向上の指導・助言											
計画体系	1-(4)- 民間保育所等の支援											
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	認可外保育所等の柔軟な保育サービスに対し助成するとともに、運営状況の実態把握及び指導を通じて保育サービスの質の向上に努めます											
認可外保育所	児童福祉法に基づく認可を受けていない保育施設の総称で、設置に関して規制はないが、入所児童数や運営形態等により知事に届出が必要な施設がある。保育を行う上では、職員配置基準、保育室の構造設備、非常災害対策等についての指導監督基準が示されている。利用できる家庭の制限はなく、利用料も施設と利用者の契約によって決められる。											
H19年度の実践 【具体的内容】	石狩市認可外保育交付金交付要綱に基づき、石狩共同乳児保育園たんぼぼ、乳幼児保育はらっぱ、保育ルームみつばちマーヤ、たくじょびるの4園に交付金を交付											
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<table border="0"> <tr> <td>市交付金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・石狩共同乳児保育園 たんぼぼ</td> <td>384万5千円</td> </tr> <tr> <td>・乳幼児保育 はらっぱ</td> <td>160万6千円</td> </tr> <tr> <td>・保育ルームみつばちマーヤ</td> <td>36万1千円</td> </tr> <tr> <td>・たくじょびる</td> <td>74万円</td> </tr> </table>		市交付金		・石狩共同乳児保育園 たんぼぼ	384万5千円	・乳幼児保育 はらっぱ	160万6千円	・保育ルームみつばちマーヤ	36万1千円	・たくじょびる	74万円
市交付金												
・石狩共同乳児保育園 たんぼぼ	384万5千円											
・乳幼児保育 はらっぱ	160万6千円											
・保育ルームみつばちマーヤ	36万1千円											
・たくじょびる	74万円											
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	待機児童対策の一環から公費助成をしており、保育の資質向上を図るため、市保育所連絡協議会主催の保育士等研修会に参加を呼びかけしているが、人的体制の問題等により全園からの参加には至っていない。											
H20年度の実践内容 【予定】	同様に実施。ただし認可保育所の定員拡大による、認可外保育所の通園児の減少が見込まれ、これに伴い交付金も減少するものと思われる。											
認可保育所 (再掲)	児童福祉法に基づく児童福祉施設。施設の広さ、保育士の数、給食設備などの一定の基準をクリアして認可された保育所。保護者が仕事や病気などの理由で0歳から小学校就学前の子どもの保育ができない場合に、子どもを預かって保育する。地方自治体が運営している保育所(公営)と社会福祉法人などが運営する保育所(私立)があり、認可保育所は公費により運営されている。											
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	認可外保育所への助成は、認可保育所待機児童の受け皿として実施しており、待機児童の大幅減少が想定されるなか、この交付金制度は見直すことになる。今後は認可外保育所が果たす役割を再検証し、改めて市の支援のあり方を検討する必要がある。											

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課
事業名	保育所の適正配置・入所数などの整備	
計画体系	1 - (4) - 効率的な保育所の運営	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	入所希望児童などが、すべての地域で、公平に保育サービスが受けられるよう整備します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	H18年度から広く議論を重ねた「いしかり保育所再編プラン」を6月に策定し、これに基づき保育園の新設及び廃止を順次取り進めた。 新設： 緑苑台子どもの家保育園(定員60名:H19.4) 廃止： 生振保育園(定員60名:H20.3)	
いしかり保育所再編プラン	本市の慢性的な待機児童は、保育施設に地域的偏在が大きく関係していることから、H20年度までに再配置を行おうとするプラン。 緑苑台・花川東地区は今後の人口増加が予想されながら、保育園の空白地域であるため、2園を新設する一方、石狩川河口周辺では半径3km圏内に4園が集中しており、いずれも大幅な定員割れとなっていることから統廃合を行う。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人工】 プラン策定及び関係条例改正 0.3人工 【事業費】 特筆すべき経費はなし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	統廃合に関し、保護者や地域からいくつかの課題提起がなされ、協議を重ねた結果、必要な見直しはプラン決定に加え解決を図った。	
H20年度の取組み内容 【予定】	新設： えるむの森保育園(定員90名:H20.4) 廃止： 高岡保育園(定員50名:H21.3) はまなす保育園(定員30名:H21.3)	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	保育所の再編は当面終了。今後は継続を決定したくみ保育園、聚富保育園、厚田保育園、はまなす保育園(いずれも石狩川以北にある市立)について、それぞれの地域の子育て拠点としての役割を担うよう、サービスの多様化や施設整備を図る。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課
事業名	障がいのある乳幼児保育の向上にむけた整備	
計画体系	1 - (4) - 障がい児保育の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がいのある乳幼児の健やかな発達を支援し、身近な地域で安心して生活できるよう支援します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	・障がい児保育の受入れ定員枠6名(法人立2園で実施)を9名に拡大(同じく2園で7月から拡大) ・従来の定員枠・園指定を廃し、受入れ保育園の拡大について各保育園と協議	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	市交付金 ・石狩仲よし保育園 407万4千円 ・南線光の子保育園 203万7千円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	障がい児保育の園指定方式では、健常児と障がい児の兄弟姉妹の場合、同一保育園での保育が困難になるケースがあり、この方式を見直すことを検討	
H20年度の取組み内容 【予定】	・園指定・定員枠を廃し、受入れ実施園に対して交付金を交付する方式に変更 ・4月から認可保育所7園が受入れ可能となった。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	担当する保育士の専門性をより向上させるため、実践に必要な研修のあり方などについて、市保育所連絡協議会の中で検討していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	協働推進・市民の声を聴く課
事業名	男性を含めた働き方の見直し・多様な働き方の実現	
計画体系	1 - (5) - 男女共同による子育ての推進	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	男女が共に子育てに参加し、仕事と家庭のバランスがとれるよう多様な働き方の見直し等の意識の浸透等を進めるため、講習会・広報等による啓発活動を行います	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展、ビデオ上映(テーマ:育児についての国際比較、仕事と子育ての両立)</li> <li>・職場におけるセクハラ防止対策セミナーの開催</li> <li>・新港地域内企業のマタニティスクールを後援(5回)</li> <li>・啓発パンフレットの作成・配布等(ワーク・ライフ・バランス、育児・介護休暇等の制度周知)</li> </ul>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展、ビデオ上映(テーマ:育児についての国際比較、仕事と子育ての両立) 【経費】なし 【人力】準備期間:職員1人、臨時職員1人で2日程度、当日(5日間):職員1人</li> <li>・職場におけるセクハラ防止対策セミナーの開催 【経費】なし 【人力】準備期間:職員1人で1週間程度、当日:職員3人</li> <li>・新港地域内企業のマタニティスクールを後援(5回) 【経費】なし 【人力】準備期間:職員1人で1日程度、当日:職員1人</li> <li>・啓発パンフレットの作成・配布等 【経費】消耗品費(色上質紙):1万円程度 【人力】職員1人で30日程度</li> </ul>	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	各事業におけるPRの不足	
H20年度の取組み内容 【予定】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会における男女平等の意識づくり</li> <li>男女共同参画週間(6月23日～29日)に合わせ、市民図書館と連携し、意識啓発に関する事業(パネル展・ビデオ上映・本の特集展示・意識調査等:会場市民図書館)を実施</li> <li>・介護の社会化と男女共同参画の促進</li> <li>介護についての学習機会の充実を図る。(地域包括支援センターと連携し、認知症サポーター養成講座を開催)</li> </ul>	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	男女平等の意識づくりを進めていく上で、女性も男性も仕事と家庭のバランスを保つことは重要な課題であり、事業所の理解・協力が必要であることから、事業所に対して『ワーク・ライフ・バランス』の考え方や各種制度の周知、意識啓発を実施していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	職員課、商工労働観光課
事業名	事業所等への育児支援制度の周知、啓発	
計画体系	1 - (5) - 子育てを支援する就労づくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	育児休業等の取得率等の向上に向け、事業所等に意識啓発・周知活動を行います	
H19年度の取組み 【具体的内容】	職員課 「市職員の1日体験保育」の実施 商工労働観光課 市内約720事業所の雇用・労働基本調査の際、また、いしかり雇用サポートセンターを利用する企業に対しリーフレットを配布	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	職員課 経費:なし 商工労働観光課 雇用・労働基本調査の際、リーフレットを同封し事業者の意識啓発を行う。年1度市内約720の事業所宛の封筒への折込作業、0.1人区未済	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	職員課 配偶者出産時等の男性職員の休暇取得率を高められていない。 商工労働観光課 特になし	
H20年度の取組み内容 【予定】	職員課 育児短時間勤務制度、早出遅出勤務制度の導入検討 商工労働観光課 H19年度と同様(企業への意識啓発と実態把握)	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	職員課 男性職員も含め、出産・育児に柔軟に対応した勤務時間、休暇取得体制の整備 商工労働観光課 関係所管への情報提供や事業展開に寄与する。	



計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	児童館
事業名	児童館等の充実	
計画体系	1 - (5) - 子育てを支援する就労づくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	児童が安全に過ごせる放課後や居場所づくりのために、児童館やミニ児童館を充実します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童館運営事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>児童館4館</li> </ul> </li> <li>放課後子どもプランを実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後児童健全育成事業を実施(放課後児童会) 11か所開設運営</li> <li>放課後子ども教室(ミニ児童館)を実施 5か所開設運営</li> </ul> </li> </ul>	
放課後子どもプラン ・放課後児童健全育成事業(厚労省)と放課後子ども教室推進事業(文科省)を連携・一体的に事業展開し、放課後の総合対策として安全で健やかな子どもの居場所を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が労働等により昼間家庭にいない概ね10歳未満の児童に対して、放課後に適切な遊びや生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業(児童福祉法第6条の2第2項)</li> <li>H18年度に国から示された放課後子どもプランの取組みとして、ミニ児童館事業において教育委員会所管の「地域子ども教室」を再編して、「放課後子ども教室」として実施</li> </ul>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	放課後児童健全育成事業	4165万円
	放課後子ども教室	953万円
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童館運営事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>花川児童館の移設(こども発達支援センターが手狭の状態)</li> <li>児童館の老朽化による改修及び樽川地区児童館建設の検討</li> </ul> </li> <li>放課後児童健全育成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>待機児童の解消</li> <li>児童指導員の確保</li> <li>サービスのあり方について保護者の要望をどのように取り入れていくか検討が必要である。</li> </ul> </li> <li>放課後子ども教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子どもプラン未実施小学校区の解消(厚田区・浜益区)</li> </ul> </li> </ul>	
H20年度の取組み内容 【予定】	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後児童健全育成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>待機児童解消対策 南線小学校区に1クラブ新設</li> <li>利用状況における再編 聚富小学校区クラブの一時休止</li> <li>基本サービスの充実 児童指導員の待遇改善(職員の非常勤化、月額報酬制)</li> </ul> </li> <li>放課後子ども教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>厚田区4回、浜益区4回、両区合同1回開催</li> </ul> </li> </ul>	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後児童健全育成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>待機児童の解消対策を重点課題として取り組む。</li> </ul> </li> <li>放課後子ども教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>本事業の基本方針である地域ボランティア活用による市民協働型の事業展開を図る。</li> </ul> </li> </ul>	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	こども家庭課
事業名	特別保育事業の充実	
計画体系	1 - (5) - 子育てを支援する就労づくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	共働き世帯の就労形態の多種多様化に対し、柔軟に対応できるよう特別保育事業を充実します	
特別保育事業	延長保育、乳児保育、障がい児保育など就労形態の多種多様化に対応するための子育て支援事業と、育児相談や就労状況に関わらず利用できる一時保育所、地域子育て支援センター等場所の支援	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各認可保育所において、乳児保育、延長保育、一時保育などを実施</li> <li>障がい児保育については、定員を拡大(6-9名)したほか、受入れ園の拡大について検討</li> <li>休日保育、病後児保育施設型の実施について実施予定保育園と協議</li> </ul>	
認可保育所 (再掲)	児童福祉法に基づく児童福祉施設。施設の広さ、保育士の数、給食設備などの一定の基準をクリアして認可された保育所。保護者が仕事や病気などの理由で0歳から小学校就学前の子どもの保育ができない場合に、子どもを預かって保育する。地方自治体が運営している保育所(公営)と社会福祉法人などが運営する保育所(私立)があり、認可保育所は公費により運営されている。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい児保育事業(交付金) 611万1千円</li> <li>乳児保育事業(委託料) 419万円</li> <li>延長保育事業(交付金) 2703万7千円</li> <li>一時保育事業(交付金) 270万円</li> </ul>	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	乳児保育については、H18年度をもって国の補助が廃止されたので、市負担のみで実施した。	
H20年度の取組み内容 【予定】	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに休日保育、病後児保育(施設型)を実施</li> <li>乳児保育は、既に一般化しており特別保育の取扱いをH19年度をもって廃止</li> </ul>	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	変化する保育ニーズに対応した保育サービスを展開する一方で、輻輳する事業については、整理統合も同時に取り進め、常にタイムリーなサービス提供を基本としたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課
事業名	児童手当助成事業	
計画体系	1 - (6) - 児童手当・乳幼児医療費等の助成	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育て家庭の生活の安定と子どもの健やかな育みを目的に、子どもと生計関係のある父母等に手当を支給します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童手当法に基づく手当を支給(支給延児童数 70,840人)</li> <li>法改正による手当の増額を実施</li> </ul>	
児童手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象年齢:小学校修了前の児童</li> <li>月額:第1子 5千円、第2子 5千円、第3子以降1人増すごとに1万円加算する。3歳未満は一律1万円</li> <li>ただし給付には所得による制限がある。</li> </ul>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 支給額 4億5493万5千円	【人工】 1人(通年担当)
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし	
H20年度の取組み内容 【予定】	H19年度同様に実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	引き続き実施	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課
事業名	乳幼児医療費の助成事業	
計画体系	1 - (6) - 児童手当・乳幼児医療費等の助成	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児に対し、医療費の一部を助成します	
H19年度の実績 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児医療費を支給(受給者数:3,340人、件数:51,260件)</li> <li>・市の独自施策として、H20年度から公費助成の拡大を検討</li> </ul>	
乳幼児医療費	<p>対象年齢:就学前まで  給付の範囲:保険内診療の医療費の内、自己負担限度額を超えた分を助成  自己負担額(外来)  ・4歳未満児または低所得者  初診時一部負担のみ(医科580円・歯科510円・柔整270円)  ・課税世帯 1割負担(月額上限12,000円)  自己負担額(入院)  ・初診時一部負担金のみ(一部負担金は外来と同じ)</p>	
かかった経費は?(又は人材は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 支給額 9813万9千円 【人工】 1人(通年担当)	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	乳幼児を養育する保護者の負担を軽減するため、市独自で4歳未満までの乳幼児について助成しているが、さらなる保護者への支援が課題となっている。	
H20年度の実績内容 【予定】	4月から就学前児童について、初診時負担金を除き原則無料化を実施	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	子育て家庭支援に重要な事業であり、更なる拡大の必要性についても引き続き検討	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課、学校教育課
事業名	就園奨励費、就学援助等の助成事業	
計画体系	1 - (6) - 幼稚園等の奨励費など各種制度の実施	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	幼稚園に通わせる家庭に就園奨励費の支給や経済的理由による就学困難な小・中学校児童生徒に就学援助費を支給します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	子育て支援課 幼稚園就園奨励費:対象者数 774人 学校教育課 ・(小中学校)就学援助費:支給者数 1,266名 ・(小中学校)特別支援教育就学奨励費:支給者数 19名	
就園奨励費	幼稚園に通わせる家庭に所得に応じて保育料等の一部を補助する事業(基本的には、補助額のうち国が3分の1、残り3分の2を市町村が負担)	
就学援助	就学援助費:経済的理由による就学困難な小・中学校児童生徒に援助費を支給するもの(準要保護者については、H17年度より三位一体改革による税源委譲により補助金が廃止され、交付税措置による一般財源化となった。) 特別支援教育就学奨励費:特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため奨励費を支給するもの	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	子育て支援課 【経費】 幼稚園就園奨励費 6150万円(国補助金1623万円、市一般財源4527万円) 【人工】 0.35人工 学校教育課 ・就学援助費 1億528万3千円(国庫補助金 22万8千円、市一般財源 1億505万5千円) ・特別支援教育就学奨励費 104万2千円(国庫補助金 26万7千円、市一般財源 77万5千円)	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	子育て支援課 就園奨励費補助事業は、補助額のうち国が3分の1、市町村が3分の2を負担することが基本原則となっているが、実際の国の負担は4分の1程度で、市町村の負担が大きくなっている。 学校教育課 就学援助費はH17年度に認定基準の見直しを実施したが、認定率が年毎に上がり、H19年度末には24%を超えるまでになっている。	
H20年度の取組み内容 【予定】	子育て支援課 国の基準の改正に基づき、対象範囲等を拡大 学校教育課 継続実施	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	子育て支援課 今後も国の基準に準拠し、継続して実施していきたい。 学校教育課 近隣他市の認定率、支給状況等を勘案した上で、今後も本市の認定率が他市と比較し突出する状況が続くようであれば、なんらかの見直しは検討せざるを得ないとする。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課、児童館
事業名	利用者負担のあり方の検討	
計画体系	1 - (6) - 費用負担の在り方	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	保育料、各種助成事業など、利用者負担のあり方等を検討します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<p>こども家庭課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定率減税の縮小に伴う保護者負担の影響及び多子世帯の保護者の負担軽減拡大のため、H19年4月より認可保育所の保育料を改定</li> <li>・へき地保育料については、合併後新市において統一できるよう調整することとなっているため、H20年度より段階的統一に向けて、庁内園長会議において検討</li> </ul> <p>児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後児童健全育成事業</li> <li>・H19年10月1日有料化の導入 (通年利用世帯 3,500円、長期休業期間一時利用 1日300円)</li> <li>・サービスの拡充 待機児童解消対策 緑苑台小学校区1クラブ開設、閉会時間の延長(18:00 18:30) 学校長期休業期間の一時保育の実施</li> </ul>	
認可保育所 (再掲)	<p>児童福祉法に基づく児童福祉施設。施設の広さ、保育士の数、給食設備などの一定の基準をクリアして認可された保育所。保護者が仕事や病気などの理由で0歳から小学校就学前の子どもの保育ができない場合に、子どもを預かって保育する。地方自治体が運営している保育所(公営)と社会福祉法人などが運営する保育所(私立)があり、認可保育所は公費により運営されている。</p>	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>こども家庭課 特にかかった経費等はなし</p> <p>児童館 特筆すべき経費等はなし</p>	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<p>こども家庭課</p> <p>保育料の軽減は、国の徴収基準とのさらなる乖離を生じ、市負担の増加を招く現状であり、費用対効果を慎重に検討する必要がある。</p> <p>児童館</p> <p>有料化後のサービスのあり方について保護者の要望をどのように取り入れていくか検討が必要である。</p>	
H20年度の取組み内容 【予定】	<p>こども家庭課</p> <p>当面保護者負担と入所状況を比較しながら注意深く状況把握に努める。</p> <p>児童館</p> <p>サービスのあり方について保護者の要望をどのように取り入れるかの取組みをする。</p>	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	<p>こども家庭課</p> <p>国の徴収基準の改定を除き、目下のところ状況把握の結果により判断したい。</p> <p>児童館 費用対効果を考慮し、適正な受益負担を継続して検討する。</p>	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課、社会教育課
事業名	家庭教育学級の充実	
計画体系	2 - (1) - 幼児教育の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	家庭を見つめ直し、自信の持てる子育てができるよう父親や地域を取り込むなど、家庭教育の充実を図ります	
家庭教育学級	親が家庭で子どもの教育・しつけを行ううえで必要な心得、子どもへの接し方など望ましい家庭のあり方を学ぶ場を提供するもの	
H19年度の取組み 【具体的内容】	社会教育課 市内幼稚園4園で開設 花川南幼稚園 「家庭でできるモンテッソーリ教育」ほか4回、延べ73人 花川マリア幼稚園 「お母さんと子育てを語る」ほか3回、延べ100人 ミナクル幼稚園 「食欲について」ほか3回、延べ70人 花川北陽幼稚園 「母たちの語り聴かせを楽しく」ほか5回、延べ168人 花川わかば幼稚園、市P連は申請なし	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	社会教育課 交付金額 3万円×4園 = 12万円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	子育て支援課 核家族化等により家庭教育力が低下しているといわれる中、乳幼児期・学童期における家族同士の交流や、リーダー養成、参加しやすい手法などの検討が必要 社会教育課 幼稚園では自主的に家庭教育に係る事業を実施しているため、側面的な支援に止まっていた。	
H20年度の取組み内容 【予定】	子育て支援課 主に在宅子育てで家庭の親を対象に、親育ちワークショップ「つけよう！ほめ日記」を実施し、親自身の育児力と親同士のコミュニケーション力の向上を図る。 社会教育課 家庭教育学級交付金はH19年度で終了	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	子育て支援課 公民館事業「びよびよ広場」と連動して、グループワーク等を取り入れた講座を実施し、一定期間の継続した事業展開を検討する。 社会教育課 子育て支援施策に包含させる。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課
事業名	幼児教育のあり方の研究	
計画体系	2 - (1) - 幼児教育の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	幼児教育の振興や幼稚園・保育所等と小学校との連携などを研究します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	本市の幼児教育振興施策である私立の幼稚園教育振興交付金のあり方について、市内幼稚園5園と協議を行い、障がい児教育へのシフトなど見直しにつながった。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特になし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	幼児教育の振興施策の検討を行ったが、幼児教育そのものの研究については、市の行政事務としての位置付け・役割を関係機関等とまだ十分協議が必要である。	
H20年度の取組み内容 【予定】	新しい保育所保育指針の策定に伴い、H21年度から認可保育所では、子ども一人ひとりの発達過程などを記録した「保育所児童保育要録」を作成し、就学先の小学校に送付することになる。これに併せへき地保育所や認可外保育所でも同様の措置になるよう奨励し、既に幼児指導要録を作成している幼稚園とあわせ、小学校との連携を深めたい。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	市内幼稚園5園は全て私立(私学)であり、もとより私学は独自の建学の精神と理念に基づき教育がなされるもので、行政の関与は最小限に止めなければならない。また学校法人の監督官庁は都道府県であり、市町村として私学の教育・運営について関与でき得る法的な根拠は見当たらない。このことから、今後幼児教育そのものを研究するのか、あるいは私学の研究を支援するのか、あるいは、幼児教育に市が求めるものを幼稚園に提案・奨励していくのか、再度方向性を確認する必要がある。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度(新規)	地域教育推進室(企画調整担当)
事業名	幼稚園、保育所等と小学校教員との交流研修	
計画体系	2 - (1) - 幼児教育の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子ども一人ひとりに応じた指導などの向上にむけ、幼稚園等との交流や研修を行います	
H19年度の取組み 【具体的内容】	幼稚園、保育所の園児、児童が小学校に出向き授業参観をしたり幼稚園、保育所と小学校が共同で行事を行うなどなどそれぞれの地域において教員等間も含め交流が進められた。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	地域ごとに工夫しながら取組みを進めているが、全地域での実施に至っていない。	
H20年度の取組み内容 【予定】	これまでの各地域での実践継続に加え、中学校区の統一指導目標に基づいた幼保小中、各校種ごとに指導の実践と交流	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	幼保小中の一貫性・連続性を目指した指導の実践と実践に向けた情報共有などによる教員等間の交流促進	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課
事業名	幼稚園教育の振興	
計画体系	2 - (1) - 幼児教育の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	人間形成の基礎を培う幼児期の教育を充実するため、環境整備や障がいのある子どもの受入れ、特色ある教育活動等を支援します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	私立幼稚園教育振興交付金を市内5園に交付 ・交付対象事業 教材・教具・図書費等整備事業(本市に住所を有する園児数に応じて交付) 障がい児教育事業(障がい児受入れ園に対し障がいをもつ園児数に応じて交付) 水泳学習事業(市民プールを利用した水泳学習の実施に対して交付) 預かり保育事業(預かり保育を行う園に交付)	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 私立幼稚園教育振興交付金:863万4千円 教材・教具・図書費等整備事業 (520万2千円(園割 5園×36万円、園児数分 567人×6千円)) 障がい児教育事業(189万2千円(4園 22人×8万6千円)) 水泳学習事業(54万円(5園 108人×プール指導員5千円)) 預かり保育事業(100万円(5園 5園×20万円)) 【人工】 0.08人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	軽度発達障がいには潜在的な増加傾向にあり、今後障がいを持つ幼児に対する支援は重要課題と考える。	
H20年度の取組み内容 【予定】	交付基準を見直し、軽度発達障がい児の就園支援を段階的に重点化 園児1人当たり交付金額(H19)8万6千円 (H20)13万円 (H21)16万円 (H22)17万円	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	幼稚園教育における重点課題を見直しながら教育活動を支援していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	学校教育課
事業名	福祉、環境、道徳教育の推進	
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもたちの豊かな人間性や社会性などを育むため地域の人材や副読本等を活用し、学習内容の充実を図るとともに、指導者の研修機会を提供します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	副読本等を活用した各教科の中での学習・福祉施設への訪問活動、ごみ拾い、花壇整備、植樹や学校版環境ISOなど環境学習、ユネスコ活動、その他ボランティア活動など	
学校版環境ISO	環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の考え方を取り入れたシステムで、各学校において、環境保全、資源の有効活用や環境への負荷の軽減など、環境にやさしい学校づくりに向けた行動に取り組み、それを点検・記録し、見直すことで次の行動に活かしてもらうもの。石狩市では、H16年度から学校版環境ISO推進モデル校として取り組んでいる。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	社会科副読本作成費302万4千円(小3、4 ただし、H20・21配布分)・環境副読本(小4「石狩の環境」、中1「環境家計ノート」については在庫活用)・福祉人権読本(小5、6 在庫活用)	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし	
H20年度の取組み内容 【予定】	継続実施(学校版環境ISOは各学校で児童生徒の省エネ等に対する意識の高まりにより各種取組みが行われていること、また、環境副読本「石狩の環境」の配布についても、他の情報媒体で十分対応が可能のためH19年度で終了)	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	現行の事業をより充実させていく。	



計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	児童館、市民図書館
事業名	親子のふれあいの場の創出	
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育て家庭が気軽に利用できる自由な交流の場として、絵本の読み聞かせや親子食事セミナー等を企画します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<p>児童館          ころころ広場と幼児開放を幼児開放「ころころ」にリニューアルし、メイク・フレンド事業として実施          ・花川北児童館 191回、花川南児童館 189回、おおぞら児童館 185回、花川児童館 200回          ・北コミセン 5回、南コミセン 4回</p> <p>図書館          「子どもの読書推進事業」を実施 うち、関連するものを以下に列記          ・ブックスタート(りんくる会場月1回、厚田・浜益区は随時)          ・乳児への絵本紹介(「あかちゃんと絵本のへや」)(月1回)          ・乳幼児健康相談での絵本紹介(年7回)          ・施設等への絵本貸出(市役所1階遊戯コーナー、こども相談センター)          ・本館おはなし会(毎月第1・3・5土曜/第2・4日曜、その他不定期で開催)          ・花川南分館おはなし会(毎月第2土曜)          ・八幡分館おはなし会(毎月第4土曜)          ・子どもと絵本に関する講演会(年1回)</p>	
幼児開放「ころころ」 (再掲)	放課後児童会の利用しない時間を活用し、親子で楽しめる遊びを通してふれあいを深めていき、乳幼児の発達を促したり、親同士の相談や交流を深めていく。	
子どもの読書推進事業	ブックスタート対象の0歳児に始まり、学校図書室支援による児童生徒までの子どもの読書環境の整備に包括的に取り組む事業	
ブックスタート	赤ちゃんの心とことばを育むため、乳児健診(10か月児健診)時に地域のボランティアが赤ちゃんと保護者の方へ1対1で絵本の読み聞かせを行い、図書館職員が保護者一人一人へブックスタートバックを手渡す。このことを通し、絵本のもつ力を保護者の方に理解していただき、家庭での絵本読み聞かせを啓発する。	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>児童館          ・専任指導員賃金 267万円、報償費 6万円、需用費 32万円、備品購入費 13万円          合計 318万円(再掲)</p> <p>図書館          【経費】 消耗品 59万円、図書費 50万円、講演会謝礼 7万円          【人工】 0.25人工</p>	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<p>児童館          子育て支援サークル活動を実施している団体の利用が少なかった。</p> <p>図書館          ・ブックスタートの際、乳児からの絵本読み聞かせの大切さを市民(保護者)に伝えることのできる人材の育成          ・おはなし会等で読み聞かせを行うことのできる人材の育成</p>	
H20年度の取組み内容 【予定】	<p>児童館          子育て支援サークル活動団体が気軽に利用できる施設として開放し、子育て支援を拡大する。</p> <p>図書館          「子どもの読書推進事業を継続実施」 うち、関連するものを以下に列記          ・ブックスタート(りんくる会場月1回、厚田・浜益区は随時)          ・「あかちゃんと絵本のへや」(月1回)          ・乳幼児健康相談での絵本紹介(年数回)          ・施設等への絵本貸出(市役所1階遊戯コーナー、こども相談センター)          ・本館おはなし会(毎月第1・3・5土曜/第2・4日曜、その他不定期で開催)          ・花川南分館おはなし会(毎月第2土曜)          ・八幡分館おはなし会(毎月第4土曜)          ・人材育成を目的とした講座等の実施</p>	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	<p>児童館          参加者の要望等を参考にしながら引き続き実施予定</p> <p>図書館          ブックスタート及びおはなし会の人材を継続的に募集、育成し、市民ボランティアとの協働のもと充実した支援体制を構築する。</p>	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課、地域教育推進室(企画調整担当)
事業名	男女共同参画意識の高揚	
計画体系	2-(1)- 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	次代の親となる中高校生と乳幼児とのふれあいの機会など、子どもや家庭の大切さへの理解や男女が協力して家庭を築く意義等の学習の機会を充実します	
H19年度の実施内容 【具体的内容】	地域教育推進室 ・職業体験学習実施に向けた受入れ事業所等に関する相談・情報提供 ・商工会議所へ協力依頼	
職業体験学習	主に中学生の勤労観、職業観を身につけさせるため、各事業所において職場体験を行う学習活動	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	地域教育推進室	なし
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	地域教育推進室	生徒の希望に沿った受入れ事業所の確保
H20年度の実施内容 【予定】	子育て支援課 つどいの広場 新規メニュー「中高生の子育てボランティア養成事業」 養成講座(4回程度)と、子育て広場での活動受入れの実施 H18、19年度にこども・コムステーション・いしかりにて開催実績あり 地域教育推進室 市内全中学校で実施予定	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	地域教育推進室	受入れ可能な事業所の開拓

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課、公民館
事業名	体験型学習や体験型社会見学等の充実	
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	社会の変化の中で主体的に生きていくことができるよう様々な体験の機会を充実します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<p>子育て支援課 町のはらっぱ事業( 76(仮称)こどもワールド整備事業)参照 公民館</p> <p>・子ども体験広場 主催:公民館 期間:季節に合わせて4回 参加者:77名 内容:子ども達の生きる力を育むため様々な体験をする機会を提供する。 テーマは「四季」 対象:小学4～6年生</p> <p>・お花見に行こう 5月19日(土) 20名 ・夏の海!ヨットに乗ろう 7月 1日(土) 40名 ・鮭つりキャンプ 10月6～7日(土日) 17名 ・すすめ!春の雪山たんけん隊 3月15日(土) 雨天のため中止</p> <p>・石狩ウルウル家族体験 主催:公民館・厚田生涯学習課・浜益生涯学習課 内容:市内の他の家庭での生活を体験し、家族の大切さを認識するとともに、「生きる力」を身に付ける。 期日:8月6日～8日 2泊3日 対象:小学5～6年生 参加者:児童16名、6家庭 (2～3名で宿泊) 事前説明会、報告会も実施</p> <p>・かんじきづくり講座 主催:いしかり森林ボランティアクマゲラ、公民館 内容:親子での共同作業や共通体験を通じてふれあいを深め、また、自然への認識を高めるきっかけづくりとする。 対象:小学生以上の親子 期日:12月15日(土) 参加者:4組7名</p>	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>子育て支援課 町のはらっぱ事業( 76(仮称)こどもワールド整備事業参照) 公民館</p> <p>・子ども体験広場 【経費】 公民館が支出 1万6千円 【人工】 毎回準備に職員1名で3日、当日は職員3名、有償ボランティアリーダーが2名</p> <p>・石狩ウルウル家族体験 【経費】 0円 【人工】 準備に1名で7日、当日は0名、説明会・報告会で準備に1名で2日、当日は4名</p> <p>・かんじきづくり講座 【経費】 0円 【人工】 準備に1名で3日、当日は1名</p>	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<p>子育て支援課 町のはらっぱ事業( 76(仮称)こどもワールド整備事業)参照 公民館</p> <p>・天候に左右されやすい。 ・学校等の行事と重ならないよう留意する必要がある。</p>	
H20年度の取組み内容 【予定】	<p>子育て支援課 町のはらっぱ事業( 76(仮称)こどもワールド整備事業)参照 公民館</p> <p>子ども体験広場 ・ヨットに乗ろう ・鮭つりキャンプ ・ボランティアリーダーとの企画</p>	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	<p>子育て支援課 町のはらっぱ事業( 76(仮称)こどもワールド整備事業)参照 公民館</p> <p>様々な市民団体との協働により、充実した事業が可能になることから、今後も市独自ではなく、いろいろな機関や団体との協働を図っていく。</p>	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	市民図書館
事業名	子どもの読書活動推進	
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの豊かな心を育むため、幼児期から成長段階に即した読書の普及を推進します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<p>「子どもの読書推進事業」を実施 うち、関連するものを以下に列記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健康相談での絵本紹介(年7回)</li> <li>・施設等への絵本貸出(市役所1階遊戯コーナー、こども相談センター)</li> <li>・本館おはなし会(毎月第1・3・5土曜/第2・4日曜、その他不定期で開催)</li> <li>・花川南分館おはなし会(毎月第2土曜)</li> <li>・八幡分館おはなし会(毎月第4土曜)</li> <li>・子どもと絵本に関する講演会(年1回)</li> <li>・学校図書室支援事業(H19年度は紅南小学校をモデル校指定)</li> <li>・学級団体貸出(参加校13校)</li> <li>・学校等でのおはなし会(不定期)</li> <li>・市内文庫への団体貸出</li> <li>・図書館まつり(10月27・28日開催)</li> <li>・本/分館の児童書の充実</li> </ul>	
子どもの読書推進事業 (再掲)	ブックスタート対象の0歳児に始まり、学校図書室支援による児童生徒までの子どもの読書環境の整備に包括的に取り組む事業	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 図書費 50万円、講演会謝礼 7万円 【人工】 0.43人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	おはなし会等で読み聞かせを行うことのできる人材の育成	
H20年度の取組み内容 【予定】	<p>「子どもの読書推進事業」を継続実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健康相談での絵本紹介(年数回)</li> <li>・施設等への絵本貸出(市役所1階遊戯コーナー、こども相談センター)</li> <li>・本館おはなし会(毎月第1・3・5土曜/第2・4日曜、その他不定期で開催)</li> <li>・花川南分館おはなし会(毎月第2土曜)</li> <li>・八幡分館おはなし会(毎月第4土曜)</li> <li>・人材育成を目的とした講座等の実施</li> <li>・学校図書室支援事業(H20年度対象校:厚田中)</li> <li>・学級団体貸出(対象校12校)</li> <li>・市内文庫への団体貸出</li> <li>・図書館まつり(11月2、3日開催)</li> <li>・本/分館の児童書の充実</li> </ul>	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会の人材を継続的に募集、育成し、市民ボランティアとの協働のもと充実した支援体制を構築</li> <li>・他部署及び市内の子育て関連施設との連携を図り、より効果的な実施内容及び方法を検討</li> </ul>	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	スポーツ健康課、社会教育課
事業名	スポーツ、芸術文化活動の指導者の養成、普及	
計画体系	2 - (1) - スポーツ・芸術文化活動の支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもが生涯にわたって積極的にスポーツ・芸術文化に親しむことができるよう環境整備します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	スポーツ健康課 スポーツ活動の普及 ・カローリング教室・カローリング大会開催への協力 ・わんぱくスポーツスクールの開催 ・子ども向けスポーツ教室を開催している体育協会に対して、補助金の交付を通じた支援 スポーツ指導者の養成 ・スポーツ指導者養成事業を行っている体育協会に対し、拠出金の交付を通じた支援 社会教育課 プログラムバンク事業において芸術文化プログラムを紹介	
カローリング	室内で行うカローリング。ストーンの裏にジェットローラがついており、体育館などの床で競技を行う。	
わんぱくスポーツスクール	市内の小学5・6年生を対象に、宿泊を伴うスポーツ体験教室	
プログラムバンク事業	講師となって教えることのできる人にその「プログラム」を登録してもらい、それを周知して、学びたい人に利用してもらうことで、石狩市の人材を生かした双方向の生涯学習を充実させようという事業	
かかった経費は？(又は人材は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	スポーツ健康課 【経費】 カローリング教室講師謝礼 3万円 【人工】 0.02人工 【経費】 わんぱくスポーツスクール(謝金) 13万円 【人工】 0.05人工 【経費】 カローリング1セット購入 25万円 社会教育課 プログラム利用の実態調査のみで、経費、人工はかかっていない。	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	スポーツ健康課 (カローリング) ・競技の普及を図るうえで、用具の充足が必要 ・特定施設に常設することによる市民へのアピール効果 (わんぱくスポーツスクール) ・種目毎の時間数の再検討 ・地域との交流の場の必要性 社会教育課 ・直接講師に連絡をとって利用してもらっているため、利用の実態が把握できていなかった。 ・PR不足で広く認知されていない。	
H20年度の取組み内容 【予定】	スポーツ健康課 ・カローリング教室の開催や他機関、団体が開催するカローリング事業への支援 ・カローリング大会開催協力 ・わんぱくスポーツスクールの開催 ・子ども向けスポーツ教室を開催している体育協会に対し、拠出金を通じた継続的な支援 ・スポーツ指導者養成事業を行なっている体育協会に対し、拠出金を通じた継続的な支援 社会教育課 プログラムの更新、充実を図る。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	スポーツ健康課 ・カローリングの継続実施を図る観点から、サークル等の組織化を支援 ・保健分野とスポーツ分野を融合し、それぞれの専門性を担保したうえで子ども向け事業を検討 ・年少者における基礎体力の向上を図るための子ども向け体力アップ事業の検討 社会教育課 学びのスタンプ制度と連携して事業の充実を図り、充実した生涯学習システムを構築したい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	スポーツ健康課、社会教育課
事業名	スポーツ、芸術文化の観戦、鑑賞機会の充実	
計画体系	2-(1)- スポーツ・芸術文化活動の支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの意欲や能力・豊かな感受性を育むため、スポーツや芸術文化等の観戦・鑑賞の機会を充実します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	スポーツ健康課 石狩市スポーツ広場整備実施設計の作成 社会教育課 学校出前ミニコンサートを市内7小中学校を対象に行ったほか、文化や青少年に関する団体で構成するいしかり芸術座運営委員会に芸術鑑賞会事業の企画・運営を委託して「キラファーストコンサートへの参加補助」「ピアノと絵本の読み聞かせ」「中学生アートフェスティバル」「ガラクタえんそう会」「俳句コンテスト」といった芸術鑑賞会事業を実施した。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	スポーツ健康課 石狩市スポーツ広場整備実施設計委託費 137万円 社会教育課 【経費】 131万5千円(謝礼金21万5千円、委託料110万円) うち63万円は道補助 【人工】 0.6人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	スポーツ健康課 ・スポーツ指導者の拡大及びスポーツの市民PRの情報提供手法の検討 ・施設的环境整備 社会教育課 いしかり芸術座運営委員会に委託して行った芸術鑑賞会事業は、委員会の自主性や特性を発揮して実施できたが、もともとH17～19年度までの3年計画の事業だったため、H20年度からは新たな展開で事業を進めることになった。	
H20年度の取組み内容 【予定】	スポーツ健康課 石狩市スポーツ広場整備の実施 社会教育課 小規模校を対象に学校出前ミニコンサートを、ピアノと絵本の読み聞かせをすべての市内小学校1年生を対象に、また、俳句コンテストを文化協会を運営主体として実施する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	スポーツ健康課 指導者層の拡大と充実のため、スポーツ指導者講習会の充実による地域に根ざした指導者の発掘と活用に努めたい。また、一流プレーが展開される全国全道大会の誘致や市民向けのスポーツ教室やスポーツイベントの開催等の充実によりスポーツの意義やすばらしさを市民にPRしたい。 社会教育課 H20年度の形をしばらくは継続する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成19年度	社会教育課
事業名	地域サポーターの養成・活用(世代間交流等)	
計画体系	2-(2)- 子どもの健やかな育成の推進	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもを個性豊かに育むため、地域の人材の有効活用や各種体験活動などを充実します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	H17年から実施している紅葉山小学校で地域のボランティアの協力を得て子ども教室を実施	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 0円(参加者から材料費のみ徴収) 【人工】 0.5人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	他の子ども教室(ミニ児童館)との事業内容の調整 27「児童館等の充実」参照	
H20年度の取組み内容 【予定】	紅葉山地域子ども教室(もつくる広場) 紅葉山小学校の児童を対象に、地域のボランティアの参画・協力を得て、様々な体験プログラムを実施し、地域とともに心豊かで健やかに育まれる環境づくりを支援する。全19回(レクリエーション、自然体験活動、工作など)	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	紅葉山小学校がH21年度をもって廃校するので、その後については、地域の意向を踏まえながら事業展開を検討していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課
事業名	育成協議会等の育成	
計画体系	2 - (2) - 子どもの健やかな育成の推進	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもに安心した地域・学校環境づくりや地域の教育力の活性化に向け、青少年健全育成活動を充実します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内6地区の地域青少年健全育成協議会へ交付金を支出</li> <li>各地区の子どもの安全・非行防止・声かけ運動等</li> <li>いしかりヤングフォーラムの開催(6地区合同)</li> <li>石中校区:外部講師による講演会、祭典巡視活動など</li> <li>花川南地区:サマーフェスティバル、少年少女意見発表会など</li> <li>北中区:意見交流会(紅葉山子育て21!), 紅南ふれあい広場など</li> <li>花中区:児童会・生徒会交流会、生活標語コンクールなど</li> <li>厚田区:「厚田区子どもを育てる集い」、区内各地区ネットワーク活動など</li> <li>浜益区:小中高合同交通安全啓発運動、浜清掃など</li> <li>石狩市子ども会育成連絡協議会へ交付金を支出</li> <li>各単位子ども会への活動支援</li> <li>ジュニア・サブリーダー養成講座の実施(対象 小5、6 中1、2)</li> <li>町のはらっぱ事業(市との共催)</li> </ul>	
地域青少年健全育成協議会 【育成協】	市内中学校を中心に小学校、地域及び家庭が連携した活動を行う協議会。祭典等の巡視やあいさつ運動の他、各育成協独自の取組みを行っている。H18年度より、厚田区、浜益区育成協も加わり、現在市内に6つの育成協が存在	
市子ども会育成連絡協議会 【市子連】	市内の単位子ども会(町内会の子ども会)指導者間の連絡及び指導者の研修や各種子ども向け事業を行う協議会(H19年度 構成単位子ども会41団体 3,743名)	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域青少年健全育成活動交付金 47万7千円【人工】0.04人工(交付金その他調整事務)</li> <li>子ども会育成連絡協議会交付金 64万8千円【人工】0.13人工(交付金その他支援事務)</li> </ul>	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	(育成協) 育成協の活動内容の精査(育成協組織ならではの活動)が課題である (市子連) 地区により子ども数の減少などで子ども会活動が困難になっているところがあるなど、単位・ブロック子ども会の活性化が急務であり、指導者養成や子どもリーダー養成が課題である。	
H20年度の取組み内容 【予定】	H20年度は厚田、浜益地区の育成協及びブロック子ども会が合併。その地域の実状にあった組織体制に見直された。	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	厚田・浜益区の育成協・ブロック子ども会の合併を検討事例とし、石狩地区内でもその地域事情にあった柔軟で効率的な組織のあり方や活動について、関係団体と検討していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度(新規)	地域教育推進室(企画調整担当)
事業名	幼稚園、保育所、児童館等と小学校・中学校との接続のあり方	
計画体系	2 - (2) - 子どもの成長に沿った連携の研究	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの成長段階に沿って円滑に移行できるよう研究します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	H18年5月に設立した連携教育推進会議において、進捗状況の把握と連携教育に関わる情報提供を実施	
連携教育推進会議	小・中学校短期教職員交流の実績を踏まえ、幼稚園、保育所さらに高校も含め、一貫性のある指導を行うことを目的に市内幼稚園、保育所、小中高教職員等で構成する会議	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちに対する基本的な生活習慣など一貫性・統一性に配慮した取組みが行われていなかった。</li> <li>H18年度から校区を中心に進めてきたが、全ての校区において実施されていなかった。</li> </ul>	
H20年度の取組み内容 【予定】	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣など成長にそった連続性のある指導について中学校区において実施する。</li> <li>全ての校区において指導方針の作成、実践を推進させる。</li> </ul>	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	幼保小中との連携を超え、地域、保護者を巻き込んだ連携につなげていく。(地域全体で子どもを育てる体制づくり)	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども発達支援センター
事業名	医療、福祉、教育、保健、地域との連携体制の充実	
計画体系	2 - (3) - 個々のニーズに応じた支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がいの原因となる疾病や事故等の予防及び早期発見・治療等をはじめ、各分野の円滑な連携による療育を支援します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	石狩市障害者自立支援協議会(案)に移行のため、地域療育推進協議会をH19年度をもって終了とした。現在活動している専門部会は継続しながら、医療、保健、福祉、教育との顔の見える繋がりや連携充実に努めた。	
地域療育推進協議会	障がい児の早期発見、早期療育の一貫した療育体制を整備し、関係者間の密接な連携により、総合的かつ効果的に療育等を推進するために設置	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	江別保健所の出席は市内の会議が重なったことにより支出なし。現場に係る専門部会委員などは関係機関の協力を得て開催のため報酬等はなし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	就学前から学齢期への繋がりが専門部会をとおして作られてきている。しかし、他職種の現状の理解と保護者の支援内容が多様化しており、専門知識及び共通理解には工夫と努力を要する。	
H20年度の取組み内容 【予定】	石狩市障害者自立支援協議会への移行をしながら、現状の活動をより現場に応じた検討をしながら継続活動していく。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	子どもに係る他職種の理解と連携	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	障がい支援課
事業名	児童デイサービス事業	
計画体系	2 - (3) - 個々のニーズに応じた支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がい児の集団生活への適応訓練や保護者の日常生活における基本的指導等を支援します	
児童デイサービス事業	未就学児から就学児(12歳未満)までの障がいや発達の遅れのある児童に対する個別・集団的適応訓練や放課後活動支援(「パレット」では中高生の就労訓練コースがある。)	
H19年度の取組み 【具体的内容】	市内には、市直営の「こども発達支援センター」と民間事業所「ニコリ」に加え、H19年11月から「パレット」が開設された。市内3事業所において児童デイサービス事業を実施することにより、障がい児の集団生活への適応訓練や保護者の日常生活における基本的指導等を支援する。(H19年度、児童デイサービス利用者総数 130名)	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	・介護給付費 2631万2千円(決算見込) ・こども発達支援センター運営費 605万6千円 + 正職員給与(4人)	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	中高生の受け入れが制度上(就学前児童の受け入れを全体の7割としなければ、事業所が不利益を受けることから)困難であったが、「パレット」の開設で解消に向かいつつある。	
H20年度の取組み内容 【予定】	・早期療育の実現に向け、個々の子どもの発達段階に適合した療育環境の整備 ・小・中・高生の放課後活動支援の充実	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	早期療育や個別療育の重点など一貫した療育実践の場としての要素と、放課後活動の場の確保など多様なニーズに応える連携システムの構築	



計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども発達支援センター
事業名	地域と連携した社会参加を促進する取組み	
計画体系	2 - (3) - 個々のニーズに応じた支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がい・発達に配慮を必要とする子どもが地域で安心して生活できるよう地域の理解・協力のもと交流等を通じた活動の機会を創出します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	発達障がいに関する講演会を療育、教育連携により開催。また、保健、福祉、教育に係る現場で中心となる担当者参加の学習会、ワーキングにより、情報交換と繋がりを通して知識や理解を深め、地域と連携した社会参加の促進に努めた。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	一般市民や子どもに係る関係機関への啓発。184名の参加。経費10万円。講演会の託児はファミリー・サポート・センターの支援を得た。	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	個人の意識レベルと全体を通じた意識の差がある。	
H20年度の取組み内容 【予定】	継続。関係機関の学習会による連携と繋がりを深めていく。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	ライフサイクルを通じた支援として関係機関との連携により個々のニーズに応じた支援の体制整備	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	就学支援担当
事業名	特別支援教育の推進	
計画体系	2 - (3) - 個々のニーズに応じた支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	児童生徒の個々の教育的ニーズを支援するため、学校内の体制整備や指導方法等に関する実践研究に努めるなど、特別支援教育の円滑な導入に向けた取組みと実践に努めます	
特別支援教育	学習面、生活面などで困り感をもつ児童生徒(学習障がいなど)の教育的ニーズを把握し、その困り感を改善または克服するために必要な支援を行うもので、H19年度から実施された。	
H19年度の取組み 【具体的内容】	H19年4月から特別支援教育が制度上の試行となり、石狩市教育相談支援チームを核に学校支援を行った。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	TA7名 【経費】 1485万8千円 【人工】 1人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特別支援教育の理念理解はなされているが、実践では学校間に温度差があった。	
H20年度の取組み内容 【予定】	具体的な支援方法を学校に助言	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	様々な事業に点在している人的資源を有機的に結合	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	妊婦に対する相談支援の充実	
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	妊婦届出時の相談体制を強化します。また、若年や高齢、疾病を有するなど妊娠出産に困難をきたしやすい妊婦に訪問や電話相談などによる個別支援を充実します	
H19年度の実施内容 【具体的内容】	妊婦届出時アンケートを実施。心身の状況や現在・今後の不安についての項目を設定し、スムーズに対応できるよう心がけた。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	妊婦届出事務及び相談対応は、1日平均2件程度	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	ハイリスク者の把握に有効であった。(未入籍14.2%、19歳以下11名等)	
H20年度の実施内容 【予定】	アンケート項目の追加・見直しを行いながら継続実施する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	個別支援の充実を図る。妊婦保健指導の訪問件数を増やしたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	マタニティコースの充実	
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	妊婦の不安の解消や孤立化を防ぐため、交流を主体としたマタニティコースを実施します	
マタニティコース	妊婦とその夫または家族を対象に実施する健康教室	
H19年度の実施内容 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養指導、食育、交流を目的としたマタニティッキングを2日、育児教室1日のコースを実施</li> <li>・両親教室を年3回、日曜日に実施</li> </ul>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マタニティコース 【経費】 保育士賃金4回 1万6千円、消耗品等 9千円 【人力】 保健師稼働 12回、栄養士稼働6回</li> <li>・両親教室 【経費】 保健師稼働 6回 【人力】 助産師報償費 3万円</li> </ul>	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	初産婦の過半数は医療機関で行われる教室に参加。医療機関では、休日や夜間に教室を開催する等、内容や利便性の充実が図られている。就労中の妊婦も増加しており、当教室の参加数が減少。夫婦そろって参加する意向の者が増えている。	
H20年度の実施内容 【予定】	両親教室を年4回に増回し、他の教室を中止する。個別支援の充実を図る。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	妊婦届出時の面接を重視。医療機関との連携強化。ハイリスク者への個別支援に努める。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	産後の母親の精神的負担の軽減	
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	産婦人科との情報交換・新生児訪問・4ヶ月児健診時に母親の精神状況を確認し、産後うつ等に対し支援します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	・新生児訪問や4か月児健診で保護者の心身状況の把握をし、早期の支援につながるよう努めた。年度後半より、新生児訪問時の産後うつスクリーニングを導入した。 ・産婦人科とは養育支援連絡票を用い、継続した支援ができるよう努めた。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	・新生児(産婦)訪問 402件 ・4か月児健診受診者 418人	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	全出生児及び産婦の86.3%に対して訪問を行い、そのうち22.9%が要事後支援者であった。訪問を拒否するケースは少なく、全出生児及びその世帯の状況が把握できた。支援を必要とするケースが多かった。	
H20年度の取組み内容 【予定】	新生児(産婦)訪問の全数実施、産後うつスクリーニング、4か月児健診での子育てアンケートを継続実施。妊娠期よりハイリスクと思われる母については産婦人科とも連携を取りながら支援を行っていく。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	訪問実施率の向上、ハイリスク者への支援の徹底に努める。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	妊婦健康診査要指導者等への支援	
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	産婦人科との連携による早期対応に努めます	
H19年度の取組み 【具体的内容】	・妊婦一般健康診査受診票の発行(前期後期各1枚、35歳以上超音波券1枚) ・B型肝炎ウイルス陽性者に対する保健指導を医療機関に委託して実施することにより、医療機関と連携して健康支援	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	前期分441件×6,880円(HBs抗原検査290円含む)、後期分388件×6,590円、超音波検査67件、総計5,746,050円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	妊娠20～27週の届出が8名、妊娠28週以降の妊娠届出者が1名いた。	
H20年度の取組み内容 【予定】	妊婦一般健康診査受診票の発行を5枚に拡大	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	受診票枚数拡大により、早期の妊娠届出と定期的な健診受診を勧奨し、妊婦及び胎児の健康保持に努める。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課、子育て支援課
事業名	育児相談機関や子育て支援サービスの周知	
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	母子保健情報の内容充実や母子手帳発行及び健診時にリーフレット等を活用し普及・啓発に努めます。また、転入者には母子保健情報や子育てガイドブック等を配布し周知します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	保健推進課 母子健康手帳発行時や訪問時、各乳幼児健診の場において育児相談機関や子育て支援サービスを周知 子育て支援課 子育てガイドブックをH18年度より1,000部増刷し発行、市内幼稚園・保育園全家庭、各健診時、出生・転入時、市内子育てサークル、子育てひろば等に配布。また、子育てネットマガジンをブックスタートパック(10か月児健診時)に入れて配布	
子育てガイドブック (再掲)	市の子育てに関する施策全般のほか、子どもに関する様々な機関や問い合わせ先、各種制度の手続きなど、市が発行している子育て総合情報誌	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	保健推進課 資料作成事務 月1～2日、リーフ作成時の消耗品費 子育て支援課 【経費】 印刷製本費 24万円、イラスト謝金 1万円 【人工】 0.2人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	保健推進課 窓口や健診、訪問のみならずこちらから子育て支援機関に出向き、相談機関の周知やPRを行っていく必要がある。 子育て支援課 特になし	
H20年度の取組み内容 【予定】	保健推進課 情報は随時更新し、内容を充実させていく。 子育て支援課 H19年度と同様に実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	保健推進課 関係機関との情報交換を密に行い、利用者が使いやすいものを作成していく。 子育て支援課 市民ニーズに応じた最新情報(旬の話題や専門スタッフによるコラムなど)の掲載に努め、より実用性の高い情報誌を目指す。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課、公民館																																							
事業名	保健相談、育児教室の充実																																								
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実																																								
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児健康相談や電話・訪問による育児相談を推進します。また、子育て教室の対象拡大や内容の充実に努めます																																								
子育て教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生後5～7か月の児と保護者を対象に実施。親子遊びや社会資源の紹介で2回、離乳食教室1回の3回1コースで実施(本庁)</li> <li>・1歳～就学前児を対象に親子遊びや昼食会など年11回実施(浜益区)</li> </ul>																																								
H19年度の取組み 【具体的内容】	<p>保健推進課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て広場、乳幼児健康相談、電話・訪問による育児相談を継続実施</li> <li>・20歳以下の母親を対象としたヤングママの子育て交流会は、参加者の状況変化があり2回開催となった。</li> <li>・今年度正式発足した双子を持つ親のサークル活動を支援</li> <li>・浜益区では、就学前までの児を対象にしたすくすくクラブやわんぱく遊び教室を実施</li> </ul> <p>公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳半～3歳児の親を対象に、親子遊び、リラックスヨガ、子どもの心としつけのお話等を行う「びよびよ広場」を実施することにより、育児教室の充実に努めた。</li> </ul>																																								
びよびよ広場	<p>子育てに関する知識や技術等の向上に努め、参加者相互や子育てを支援する人々との交流を深めることにより家庭の教育力の向上を図るための事業</p> <p>びよびよ広場in花川</p> <table border="0"> <tr> <td>・開講式、オリエンテーション</td> <td>5月24日</td> <td>24組52名</td> </tr> <tr> <td>・リラックスヨガと子育ての話</td> <td>5月31日</td> <td>23組50名</td> </tr> <tr> <td>・おもちゃづくり</td> <td>6月 7日</td> <td>18組40名</td> </tr> <tr> <td>・講義「親たちの生き方と子育て、しつけ」</td> <td>6月14日</td> <td>19組41名</td> </tr> <tr> <td>・幼児の成長と絵本の話</td> <td>6月21日</td> <td>15組33名</td> </tr> <tr> <td>・遠足(雨天のため屋内)</td> <td>6月28日</td> <td>17組38名</td> </tr> <tr> <td>・調理実習と栄養の話</td> <td>7月 5日</td> <td>21組45名</td> </tr> <tr> <td>・託児ビデオ上映、作文</td> <td>7月12日</td> <td>20組44名</td> </tr> <tr> <td>・バス遠足</td> <td>7月19日</td> <td>20組43名</td> </tr> <tr> <td>・講演「子どもの心」、閉講式</td> <td>7月26日</td> <td>22組55名</td> </tr> </table> <p>びよびよ広場in八幡</p> <table border="0"> <tr> <td>・開講式、リラックスヨガと子育ての話</td> <td>7月20日</td> <td>8組14名</td> </tr> <tr> <td>・調理実習と栄養の話</td> <td>7月27日</td> <td>8組21名</td> </tr> <tr> <td>・親子レク 閉講式</td> <td>8月 3日</td> <td>10組27名</td> </tr> </table>		・開講式、オリエンテーション	5月24日	24組52名	・リラックスヨガと子育ての話	5月31日	23組50名	・おもちゃづくり	6月 7日	18組40名	・講義「親たちの生き方と子育て、しつけ」	6月14日	19組41名	・幼児の成長と絵本の話	6月21日	15組33名	・遠足(雨天のため屋内)	6月28日	17組38名	・調理実習と栄養の話	7月 5日	21組45名	・託児ビデオ上映、作文	7月12日	20組44名	・バス遠足	7月19日	20組43名	・講演「子どもの心」、閉講式	7月26日	22組55名	・開講式、リラックスヨガと子育ての話	7月20日	8組14名	・調理実習と栄養の話	7月27日	8組21名	・親子レク 閉講式	8月 3日	10組27名
・開講式、オリエンテーション	5月24日	24組52名																																							
・リラックスヨガと子育ての話	5月31日	23組50名																																							
・おもちゃづくり	6月 7日	18組40名																																							
・講義「親たちの生き方と子育て、しつけ」	6月14日	19組41名																																							
・幼児の成長と絵本の話	6月21日	15組33名																																							
・遠足(雨天のため屋内)	6月28日	17組38名																																							
・調理実習と栄養の話	7月 5日	21組45名																																							
・託児ビデオ上映、作文	7月12日	20組44名																																							
・バス遠足	7月19日	20組43名																																							
・講演「子どもの心」、閉講式	7月26日	22組55名																																							
・開講式、リラックスヨガと子育ての話	7月20日	8組14名																																							
・調理実習と栄養の話	7月27日	8組21名																																							
・親子レク 閉講式	8月 3日	10組27名																																							
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>保健推進課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤングママ交流会の託児として保育士2回、保健師・看護師稼働4回、栄養士稼働4回</li> <li>・すくすくクラブ消耗品14,000円 わんぱく教室消耗品22,000円</li> </ul> <p>公民館</p> <p>びよびよ広場in花川</p> <p>【経費】 188,640円</p> <p>【人工】 毎回準備に1人1日、当日は2人</p> <p>びよびよ広場in八幡</p> <p>【経費】 58,490円</p> <p>【人工】 毎回準備に1人1日、当日は2人</p>																																								
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<p>保健推進課</p> <p>子育て広場の参加をきっかけに、仲間同士で外出の機会を拓げていく親子が多かった。地域の子育て支援事業が充実してきているため、当課では自ら外出の機会を作れないケースや育児面等で気になる親子が、いずれかの場所、事業に参加できるような個別の働きかけを行う必要がある。</p> <p>公民館</p> <p>家にこもり孤立しがちな親子に参加を促すため、周知方法に一層の工夫が必要である。</p>																																								

<p>H20年度の取組み内容 【予定】</p>	<p>保健推進課 来所・電話・訪問による相談は随時行っていく。ヤングママの交流会は個別支援を行った上で、新しい対象者で再開する。浜益区も前年と同様に実施予定</p> <p>公民館 びよびよ広場:n花川</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開講式、オリエンテーション 5月23日</li> <li>・おもちゃづくり 5月30日</li> <li>・リラックスヨガと子育ての話 6月 6日</li> <li>・親たちの生き方と子育て、しつけ 6月13日</li> <li>・調理実習と栄養の話 6月20日</li> <li>・子どもと一緒に楽しむ絵本 6月27日</li> <li>・子どもの心 7月 4日</li> <li>・バス遠足 7月11日</li> <li>・託児ビデオ上映、閉講式 7月18日</li> </ul> <p>びよびよ広場:n八幡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子レクリエーション 9月12日</li> <li>・リラックスヨガと子育ての話 9月19日</li> <li>・講義「元気に子育てするために」 9月26日</li> </ul>
<p>今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】</p>	<p>保健推進課 地域の子育て支援事業の充実に伴い、当課ではより個別支援、ハイリスク者への支援を重視する。</p> <p>公民館 子育て支援や家庭教育の重要性が強く指摘される中において、今後も必要とされる課題の把握に努めながら実施するとともに、参加者同士の交流が一層図られるよう進め方を工夫する。</p>

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	乳幼児健診体制の充実	
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児健診の体制・内容を見直し、混雑の解消や相談しやすい体制を整備します。また、育児不安のある保護者には訪問等の事後支援を行います	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各乳幼児健診を毎月1回半日体制で実施</li> <li>・10か月児健診ではブックスタート(図書館事業)を継続実施</li> </ul>	
ブックスタート (再掲)	赤ちゃんの心とことばを育むため、乳児健診(10か月児健診)時に地域のボランティアが赤ちゃんと保護者の方へ1対1で絵本の読み聞かせを行い、図書館職員が保護者一人一人へブックスタートパックを手渡す。このことを通し、絵本のもつ力を保護者の方に理解していただき、家庭での絵本の読み聞かせを啓発する。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 医師報酬・看護師・歯科衛生士賃金 約270万円 【人力】 健診回数 年48回(栄養士 36人/日、保健師 144人/日、事務職員 48人/日)	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	転入者の増加により、3歳児健診の対象者数が増加傾向。3歳児健診の精度向上と、混雑解消が課題	
H20年度の取組み内容 【予定】	健診がスムーズに行われるよう、混雑の解消に努める。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	3歳児健診の実施体制について検討する。健診における発達障がいスクリーニング精度の向上を図る。就学時あるいは就学後までの追跡調査が必要	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課、こども相談センター
事業名	虐待の早期発見、予防	
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	虐待予防ケアマネジメントシステム事業を展開し児童虐待の発生予防に努めます	
虐待予防ケアマネジメント事業	4か月児健診において、「子育てアンケート」として虐待要因を点数化し、スクリーニングを実施。ハイリスクケースについては、事後指導等を実施する。また、処遇困難ケースに対する検討会を実施する。	
H19年度の取組み 【具体的内容】	保健推進課 4か月児健診時に、虐待早期発見スクリーニングを行い、育児支援が必要な家庭に虐待予防に関する事後支援を行った。新生児訪問における産後うつスクリーニングも虐待予防の観点を含めて活用した。ハイリスク者(若年母や双子)に対する子育て交流会を実施した。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	保健推進課 【人力】 保健師 80日分、臨時看護師 30日分	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	保健推進課 新生児訪問の全数実施により、早期に要支援者が把握できるようになった。4か月児健診までの期間の支援が充実した。	
H20年度の取組み内容 【予定】	保健推進課 引き続きスクリーニングを実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	保健推進課 スクリーニング後の事後指導の徹底と追跡調査を行う。 こども相談センター 虐待が疑われるハイリスクケースについては、要保護児童ケースとして情報共有していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	乳幼児健診未受診者への対応	
計画体系	3 - (3) - 健康診査及び事後支援体制の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児健診の未受診者に電話・手紙・訪問などで健康状態の確認を行い健診の普及・啓発に努めます	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>未受診者に対して再度手紙を送付し受診を勧奨。それでも受診されなかった場合は、電話や訪問による状況確認を実施</li> <li>日程の都合が合わない場合は、他の健診日程でも受入れを実施</li> </ul>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人力】 通知の事務処理に2日程度。その他状況確認の電話や訪問は随時実施	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	未受診児の中には発達や家庭的に問題を抱えている子も少なくない。また、状況確認のため電話や訪問をするも母親が就労している場合などは連絡がつかないことも多い。	
H20年度の取組み内容 【予定】	未受診者については引き続き手紙や電話による勧奨を行い状況確認に努めていく。特に3歳児健診の未受診者対策を強化する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	保護者の就労などで連絡のつかない場合もあるので、保育園の利用状況なども確認し状況把握に努めていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	保健推進課
事業名	健診事後指導の充実	
計画体系	3 - (3) - 健康診査及び事後支援体制の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	健診の結果、支援が必要な乳幼児に相談指導を行います。さらに福祉関係者などと連携して指導体制を充実します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診後、何らかの支援が必要と判断される児に対し、保健師の電話や訪問でフォローを行ったり、発達相談において支援を実施</li> <li>必要に応じて子ども相談センターと連携したり発達支援センターに結びつけた。</li> </ul>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	訪問・電話は随時、発達相談員賃金 年12回	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	訪問や電話をしても保護者が受け入れられない場合は、支援が途切れてしまう場合でも、見守り支援などを通して状況を把握しておく必要がある。	
H20年度の取組み内容 【予定】	H19年度と同様	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	訪問・電話による状況確認は引き続き行っていく。支援児が幼稚園や保育園など他機関も利用している場合は、連携を取りながら援助を検討していきたい。	



計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	発達に不安がある乳幼児への支援	
計画体系	3 - (3) - 健康診査及び事後支援体制の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	専門相談員による発達相談を行い、きめ細やかな相談を行っていきます	
H19年度の実績 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6か月児健診・3歳児健診・発達相談において、臨床発達心理士による相談を実施</li> <li>・保健師による電話や訪問での状況確認を実施</li> </ul>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 賃金1万円×36回 = 36万円 【人力】 1歳6か月児健診・3歳児健診・発達相談 各12回	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	発達相談の日程は月に1回しか設けていないため、保護者の都合のつかない場合は相談につながらないこともある。年々要経過観察児が増えてきており、相談日程が足りなくなっている。また、発達相談員賃金は近隣自治体と比較し低い状況にあり、人材確保のためにも賃金の値上げもしくは報償費にて支弁などの検討が必要	
H20年度の実績内容 【予定】	臨床心理士による発達相談日12回の他に、予備の相談日を2回設け必要に応じ実施する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	出生数の増加に伴い相談件数は増加していくことが予想されるため、日程の増回を検討していく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成19年度	保健推進課
事業名	指導の徹底及び啓発	
計画体系	3 - (3) - 予防接種の普及	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	新生児訪問や各健診時に指導の徹底を図るとともに、リーフレット等を活用して接種の普及・啓発に努めます。また、未接種者の情報を把握し早期に接種するよう指導を徹底します	
H19年度の実績 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象乳幼児や児童へ、予防接種の周知・接種勧奨を実施した。</li> <li>・予防接種の整備により、受診状況の把握が容易になった。</li> </ul>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 リーフレット・予防接種のしおり用紙代金 5万円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二種混合(小学生)、麻疹風疹1期の接種率がいずれも50%台と低い。</li> <li>・3歳児健診以降の接種対象児への費用対効果の高い周知方法について検討が必要</li> </ul>	
H20年度の実績内容 【予定】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻疹風疹予防接種の第2期(就学前1年間)の周知方法の検討</li> <li>・新たに開始する麻疹風疹予防接種第3・4期の円滑な実施</li> </ul>	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携を継続し、予防接種の周知の徹底</li> <li>・安全な実施、接種事故防止のため、医療機関の指導を継続する。</li> </ul>	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	歯科相談、検診の充実	
計画体系	3 - (3) - 歯科保健の推進	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	歯科相談指導の充実や歯科検診の意向調査等を実施し、必要な見直しを検討します	
H19年度の実施内容 【具体的内容】	・10か月児・1歳6か月児・3歳児健診で歯科衛生士による相談の場を設置 ・歯科検診を1歳6か月児・3歳児健診のほかに月2回実施(支所においては年4回実施)	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	歯科医師報酬 1,152,000円、歯科衛生士賃金 292,800円 その他消耗品や医薬材料費など	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	1回平均受診数が26.3名、極端に混雑することなく個別のブラッシング指導も十分に実施できているが、今後は保護者の歯科衛生に対する意識や生活全般の指導について検討を要する。	
H20年度の実施内容 【予定】	実施回数等はH19年度と同様に実施。2歳児への個別通知も継続実施とする。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	継続して実施する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	事故防止の普及啓発及び指導	
計画体系	3 - (3) - 事故防止対策	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	新生児訪問指導でSIDS(乳児突然死症候群)予防を含めた事故防止の指導を行います。さらに、乳幼児健診時においても啓発に努めます	
新生児訪問指導	生後28日までを新生児期という。第1子と低出生体重児(出生時体重2,500g未満)、その他必要と認められた児に対する訪問指導を実施している。	
SIDS(乳児突然死症候群)	元気で何の異常もなく育っていた赤ちゃんが、ある日突然睡眠中に呼吸が止まって死亡する病気	
H19年度の実施内容 【具体的内容】	・新生児訪問や4か月児健診において、リーフレットを配布 ・公共施設にポスターを掲示	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	無料リーフレット、ポスター使用	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし	
H20年度の実施内容 【予定】	前年同様	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	様々な機会を利用して啓蒙普及を図る。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	食生活に関する正しい知識の普及、啓発	
計画体系	3 - (4) - 適切な食生活・食習慣の形成	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	妊産婦をはじめ、子どもの成長段階に応じた食に関する正しい知識と望ましい食習慣の学習機会や情報提供を保健・福祉・教育分野などが連携し、子どもや家庭の心身の健康増進に努めます	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養講義と調理実習がメインのマタニティクッキングを実施、妊娠期から啓発</li> <li>・乳児期には離乳食教室を、浜益支所においては保育園児を対象にした親子料理教室を実施</li> <li>・「石狩市食育推進」庁内連絡会議を開催</li> </ul>	
「石狩市食育推進」庁内連絡会議	食育基本法に基づき、市民の健康づくりのための食育について子どもの時期から食についての正しい知識と望ましい食習慣を身につけるとともに、各世代にわたる食育を推進するために、食を通じて市民の心と体の健康を支える食育活動について関係する職員が共通認識を持ち、連携しながら食育の推進を図るための庁内会議	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マタニティクッキング:保健師稼働 8回、栄養士稼働 8回</li> <li>・離乳食教室:栄養士:保健師稼働 5回、その他消耗品など</li> </ul>	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	マタニティクッキングは参加者からは好評であったが、病院での母親教室などに参加するケースが多く、1回の参加人数が少ないため、教室型ではなく、希望者への個別対応にしていく。	
H20年度の取組み内容 【予定】	マタニティクッキングは廃止し、希望者には個別対応する。離乳食教室は4コースで実施。食育推進庁内連絡会議には随時参加	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	妊娠期・乳幼児期・学童期・思春期の各世代への取組みを関係所管と検討していく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	健診での栄養指導の充実	
計画体系	3 - (4) - 適切な食生活・食習慣の形成	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	利用しやすいリーフレット(簡単レシピ集や清涼飲料水等)などを作成し、栄養指導等を充実します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各乳幼児健診での相談のほか、乳幼児健康相談で栄養相談を実施</li> <li>・3歳児健診において栄養個別指導を全件行うこととし、H18年度6.0%からH19年度58.4%に増加した。</li> <li>・電話や来所による相談は随時実施</li> </ul>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人力】 保健師・栄養士稼働 乳幼児健診 各12回×2人、乳幼児健康相談 年12回	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	1歳6か月児健診での栄養相談利用が少ない。	
H20年度の取組み内容 【予定】	各乳幼児健診・乳幼児健康相談はH19年度と同様に実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	1歳6か月児健診での全件栄養指導の導入も検討したい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度(新規)	子育て支援課、学校教育課
事業名	食に関するプログラムの開発	
計画体系	3 - (4) - 適切な食生活・食習慣の形成	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	身近に学習できる食に関するプログラムを開発し、学校を始め地域での活用を勧めます	
食に関するプログラム	<p>普段の遊びの中で「お箸の持ち方」「3色食品群」などを習得するプログラム(手順)。藤女子大学食物栄養学科ゼミ生の研究テーマと保育園独自の食育メニューをタイアップさせ、協働によるプログラムを開発する。また、今後の食育推進のツールとして活用する。</p>	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<p>子育て支援課 ・藤女子大学食育ゼミとの協働により、まきば保育園、友愛保育園にて「お箸の正しい持ち方講座」、「3色食品群学習講座」を実施 ・藤女子大学食育ゼミとの協働により、石狩仲よし保育園、南線光の子保育園にて「お箸の持ち方出前講座」(各園1回のみ)を実施 ・石狩市私立幼稚園PTA連合会との協働により、親子食育教室「親子で学ぼうモグモグGOOD! 2008」にて、3色食品学習講座やお箸の持ち方講座などを実施 学校教育課 日本スポーツ振興センターの委嘱事業により、市内の小学校5年生、中学校2年生を対象に食生活に関するアンケート調査を行ったほか、さまざまな食育推進事業を実施した。</p>	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>子育て支援課 【経費】市の支出はなし【人工】0.15人工 学校教育課 直接経費は些少のため補正せず(なお、食育推進事業は80万円の補助金で実施)</p>	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<p>子育て支援課 ゼミ生の講座や幼P連のイベントなどは短期的・単発的なものであるため、継続した取組みが重要である。 学校教育課 正しい食習慣の形成は学校だけでは難しいため、家庭(保護者)との連携が今後必要不可欠である。</p>	
H20年度の取組み内容 【予定】	<p>子育て支援課 ・藤女子大学食育ゼミとの協働により、南線光の子保育園にて「お弁当箱を利用した栄養管理講座」、まきば保育園にて昨年指導を受けた園児のフォローアップ講座、他市内2園にて「お箸の持ち方出前講座」(単発もの)を実施 ・石狩私立幼稚園PTA連合会との協働により、環境と食をテーマにした親子食育体験事業を実施 学校教育課 児童生徒が正しい食習慣を身につけるよう食指導等を継続して取り組んでいく。</p>	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	<p>子育て支援課 課題としてあげたが、継続した取組みの啓発のため、ゼミ生の開発した指導グッズのパッケージ化などにより、園や家庭でのフォローアップやその他団体等でも簡単に実施できる環境の整備が効果的であると考えます。 学校教育課 前年度に実施した「石狩市の小中学校の食生活に関するアンケート」の集計・分析結果を基に引き続き食育推進事業を実施する。</p>	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課、子育て支援課
事業名	性や感染症予防等に関する正しい知識の普及	
計画体系	3 - (5) - 性に関する健全な意識の涵養	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	性の問題行動や性感染症の予防のため、性に関する正しい知識の普及・啓発活動を行います	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<p>保健推進課 P連研究大会分科会で話題提供、紅葉山小学校地域教育で講演、花川南中学校において講演会を実施 子育て支援課 ・厚田区青少年育成協議会(市からの交付金団体)主催の「厚田区子どもを育てるつどい」において性教育講演会「思春期の性について考える」を実施 実施日 H20年3月5日 場所 交流センターみなくる 講師 札幌医科大学准教授 杉山厚子氏、市保健士 参加人数 50名 ・市、地域青少年健全育成協議会主催のいしかりヤングフォーラム(中高生対象事業)において、医学生団体SCORA-hokkaidoと協働し「性と生のピア・エデュケーション」を実施 実施日 H20年3月22日 場所 りんくる交流活動室 参加人数 60名</p>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>保健推進課 【経費】 講師謝礼4万円(北海道健康づくり財団で全額助成) 【人工】 人工 0.03人 子育て支援課 ・厚田区子どもを育てる集いは厚田区育成協の事業であり、市の人工・支出は発生せず ・いしかりヤングフォーラム 【経費】 81,600円(講師謝金、消耗品) 【人工】 0.32人工</p>	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	保健推進課 よりよく生きるための性の知識を義務教育でどう実践していくか	
H20年度の取組み内容 【予定】	<p>保健推進課 目的を同じくして活動する人と連携し、情報発信をする。(市内で活動する助産師や養護教諭と連携し、小中学校や保護者を対象に講演を行う)</p>	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	保健推進課 実践を積み重ねて、モデルとなるプログラム作りを行う。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課、子育て支援課、学校教育課
事業名	薬物乱用、喫煙防止の普及、啓発	
計画体系	3 - (5) - 薬物等や喫煙防止の推進	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	心や身体を蝕む薬物乱用や喫煙を、地域・保健・家庭・学校が連携し、防止・啓発活動を進めます	
H19年度の取組み 【具体的内容】	保健推進課 市内小中学校における喫煙防止教育の実施調査 子育て支援課 こどもまつり・子育て支援メッセ2007に薬物乱用防止キャラバンカーを招致 見学者数 10/27 約250人、10/28 約250人 学校教育課 ・保健体育での授業や薬物乱用防止教室の開催 ・学校内における禁煙の実施 ・(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターの薬物乱用防止キャラバンカーを利用した教室を5校において実施	
薬物乱用防止キャラバンカー	麻薬・覚せい剤等の薬物の乱用が世界各国で深刻な社会問題となっていることを背景として、(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターが、薬物乱用防止キャラバンカーによるキャンペーンを全国的に展開。小学校の高学年、中学生、高校生を対象に薬物乱用防止啓発指導を実施するために活用している。キャラバンカー内は展示コーナーと映像コーナーに分かれ、専門の指導員による解説を交え、簡単にシンナー・覚せい剤等薬物乱用防止に関する正しい知識の理解ができるよう工夫されている。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	保健推進課 【人工】 0.01人 子育て支援課 なし 学校教育課 経費は些少のため把握していない	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	保健推進課 小学校2校で喫煙防止教育未実施。関係機関との連携により実施を希望する小中学校が5校あった。 子育て支援課 子どもが多く集まる機会を利用し、試験的にこどもまつりに薬物乱用防止キャラバンカーを呼んだが、じっくり足を止めて見学していく人はごく少数だった。 学校教育課 外部の専門機関を活用し児童生徒に指導を行う学校が前年実施校に限られている現状にある。	
H20年度の取組み内容 【予定】	保健推進課 喫煙防止教育未実施校に対して、実施予定の確認及び協力 学校教育課 H19年度の取組みをより多くの学校で実施できるよう要請を行う。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	保健推進課 ・小中学校における教育実態把握を継続 ・内容のレベルアップ(関係者と協議) ・保護者への啓発の充実 子育て支援課 薬物乱用防止キャラバンカーを呼んで効果的なイベントやその実施方法などを検討していく。 学校教育課 保健体育の授業をはじめ、警察職員等による薬物乱用防止教室、薬物乱用防止キャラバンカーによる薬物乱用防止教室の取組みの充実を図っていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	こども相談センター
事業名	心の相談支援コーナーの設置	
計画体系	3 - (5) - 思春期の子ども心の健康	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	児童生徒が悩みや不安等を気軽に話せ、和らげることができるようメール相談等の窓口を整備します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	臨床心理士が小学校で「いじめ防止について」の講話を実施し、子ども達に悩みの相談をすることの大切さや相談窓口をPRした。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特になし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	相談する場所の周知としては効果的だが、実際に相談してくる件数は少ない。	
H20年度の取組み内容 【予定】	学校に働きかけを行い、相談機関として引き続き周知していく。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	相談窓口のPRだけでなく、子ども達に悩みの相談をすることの大切さを伝える方法を検討したい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成21年度(新規)	建築課
事業名	公営住宅の入居基準の見直し(多子世帯等の優先入居等)	
計画体系	4 - (1) - 住居環境の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育てを担う若い世代や多子世帯に、ゆとりある住宅を供給できるよう市営住宅の入居基準等の見直しをします	
H19年度の取組み 【具体的内容】	H18年度に前倒しを行い、多子世帯の優先入居を条例化	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	多子世帯の他にも母子世帯や高齢者も優先入居の対象であり、抽選によるため、必ずしも入居の確率は高くはない。	
H20年度の取組み内容 【予定】	H19年度と同様	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	今後、市営住宅の建替えを行う際には多子世帯専用住宅の取組みなども検討したい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度(新規)	都市開発課
事業名	市街地開発事業等の子育て支援施設等整備の普及、啓発	
計画体系	4-(1)- 住居環境の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	宅地開発や公共施設整備等での子育て支援施設が一体的に整備されるよう普及・啓発を行います	
H19年度の取組み 【具体的内容】	H19年度は宅地開発や市街地開発事業がなかったため、該当なし	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	上記より該当なし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	上記より該当なし	
H20年度の取組み内容 【予定】	特になし	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	予定なし	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	都市整備課
事業名	公園、道路、公共施設の整備	
計画体系	4-(2)- ユニバーサルデザインによる公的施設の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	高齢者・障がい児(者)等をはじめとする誰もが利用しやすい公園等のバリアフリー化を推進します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	石狩ふれあいの杜公園におけるバリアフリー園路の整備、視覚障害者用(点字板・触知図)案内標識の設置を行った。また、花川南大空公園において、リニューアル工事としてバリアフリー園路の整備を行った。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 石狩ふれあいの杜公園整備(その3)工事 2253万3千円 花川南大空公園整備工事 2885万4千円 【人工】 約1人/年	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし	
H20年度の取組み内容 【予定】	特になし	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(H18年法律第91号)」が施行されたことにより、公園の新設、増設、又は改築を行うときは省令で定めた基準に適合するよう努める。石狩ふれあいの杜公園整備工事はH19年度で完了。街区公園整備事業は、ワークショップの手法により市民と協働による公園設計を行う。	



計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	商工労働観光課
事業名	事業者等に子ども連れ親等に配慮した施設整備の指導、啓発	
計画体系	4 - (2) - ユニバーサルデザインによる公的施設の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	公共施設や大型店舗等に子育て世帯が快適に利用できる育児スペースなどを設置するよう指導・啓発を行います	
H19年度の取組み 【具体的内容】	市内約720事業所の雇用・労働基本調査の際、いしかり雇用サポートセンターを利用する企業に対しリーフレットを配布	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	雇用・労働基本調査の際、リーフレットを同封し事業者の意識啓発を行う。年1度市内約720の事業所宛の封筒への折込作業、0.1人区未済	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし	
H20年度の取組み内容 【予定】	H19年度と同様(企業への意識啓発)	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	今後も就業条件の整備について事業者への要請を行っていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	総務課
事業名	防災等の避難体制等の周知活動	
計画体系	4 - (2) - ユニバーサルデザインによる公的施設の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	緊急時に、すぐ対応できるよう避難場所や避難方法等の周知を徹底します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	・備蓄資材の場所、使い方等について学校に説明し、生徒にも周知を行うよう依頼 ・学校が石狩市の避難所となっていること、避難所運営訓練を行っているなどの説明もあわせて実施	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特になし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし	
H20年度の取組み内容 【予定】	今年度も同じように期限切れ近くの備蓄品を学校に配布し、防災意識の高揚や防災知識の普及啓発に努める。また、避難所運営訓練も計画に基づき行っていく。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	これからは、備蓄品以外の防災知識として、避難場所や避難経路の確認・事前把握及び町内会・自治会等で実施している防災訓練への参加を積極的に呼びかけていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成21年度(新規)	子育て支援課
事業名	(仮称)こどもワールド整備事業	
計画体系	4-(2)- 子どもたちの居場所づくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	プログラムや時間に迫られない空間を子どもたちに提供し、自由な発想で遊び・学び・創作活動など、子どもたちの自主性を大切にしたい事業を、組み立て方式で展開し、子どもの夢と生きる力の育みにむけ、生き生きと過ごせる場を整備します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<p>【町のはらっぱ事業】</p> <p>主催：緑苑台町のはらっぱ井戸端会議、石狩市 共催：市子連</p> <p>内容：緑苑台紅葉山南公園横市有地にて、子ども達が自由な発想でつくりあげる冒険遊び場「町のはらっぱ」を展開。年4回のイベント実施や、イベントで作った手作り遊具や廃材等は平日も常設</p> <p>「はらっぱ建設隊出動！」 日程：6/24(日) 参加人数：85名</p> <p>自然木を利用したターザンロープ、タイヤブランコ、秘密基地づくり、廃材工作、廃材を利用した焚き火で野外調理等を実施</p> <p>「一週間まるまるはらっぱウィーク！」 日程：7/29(日)～8/5(日) 参加人数：延べ255名</p> <p>はらっぱリーダー(井戸端会議メンバー)が一週間常駐し、廃材工作や廃材を利用した焚き火で野外調理、日替わり遊び体験メニューを実施</p> <p>「今日は一日はらっぱ日和」 日程：9/9(日) 参加人数：53名</p> <p>ポリ袋を利用した大型凧づくり、凧あげ、野外調理</p> <p>「冬のはらっぱ山」 日程：1/27(日) 参加人数93名</p> <p>重機で積み上げた大きな雪山でのフリースタイルな遊びを基本に、ソリレース、雪合戦、かまくら遊びなどを実施</p>	
冒険遊び場	子どもが自ら遊びをつくる遊び場で、子どもがのびのびと、思い切り遊べるように禁止事項をなくし、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを大切にしながら、そこにある道具や工具、自然の素材や廃材など様々なものを使って、自分のしたいことを実現していく遊び場	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>【経費】 市費 15万7千円(消耗品、資材等)</p> <p>市子連共催費 2万7千円(消耗品、資材等)</p> <p>【人工】 0.58人工</p>	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	H18年度から(仮称)子どもワールド整備事業の試験的事業として「町のはらっぱ事業」を展開。この事業のテーマは 自由な遊びの中で子ども達自身が必要なルールを見出し、異年齢児による集団行動及び規範化の経験を出来るようになるのか 手製のため必ずしも万全でない遊具での遊びを通じ、子ども達自身が注意力を高め危険察知さらには、事故の未然防止能力を発揮できるようになるのか はらっぱで遊ぶ子どもを見守る地域コミュニティの醸成が可能かということがあげられる。	
H20年度の取組み内容 【予定】	<p>・平日の開放と6月、8月、10月、2月の年4回のイベントを実施予定</p> <p>・子どもが自ら秘密基地を改造したりなどしているため、もっと子ども主体ではらっぱをつくりあげることができるような工夫をする。</p> <p>・H20年度の遊具製作時は、専門家の指導のもと、複数年の利用に耐えられるような構造、つくり方に留意する。</p>	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	計画策定時は、1つの場所で組立て式の遊び場をつくることを想定していたが、一極集中的なものを設置するのがよいのか、現在行っている町のはらっぱ事業を市内複数地区で(例えば、小学校区単位など)行うような方式の方がよいのか、また、それは実現可能なかを3年間の実績を踏まえながら検討したい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども相談センター
事業名	地域、関係機関、学校、警察等の連携強化 いじめや問題行動等のないまちづくり	
計画体系	4 - (3) - 子どもたちを見守る体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	家庭や地域住民・学校・関係機関・警察等とのネットワーク体制を強化し、子どもを犯罪・非行等から「守る」ために、地域社会全体で取り組みます	
H19年度の取組み 【具体的内容】	要保護児童対策地域協議会の総会を実施し、事例検討を通じて関係機関の連携の必要性について情報共有を図った。	
要保護児童対策地域協議会	H16年改正の児童福祉法により明記された虐待、いじめ、不登校など、要保護児童等の適切な支援・保護を図るための地域関係機関により構成される協議会のこと。本市では、その名称を「こども見守りネットワーク協議会」とした。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人工】 0.5人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	いじめ、非行の問題については、まだ見守りネットのシステムで対応する状況には至っていない。	
H20年度の取組み内容 【予定】	いじめや不登校ケースの相談があった場合について、ケース会議を通して早期対応とネットワークによる適切な支援を行う。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	虐待問題に対応するためのケース会議の手法を、いじめや不登校問題についても応用し、第三者機関として、見守りネットが機能する支援方策を見出していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	市民生活課、就学支援担当
事業名	町内会等との連携による防犯活動	
計画体系	4 - (3) - 子どもたちを見守る体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	安全・安心なまちづくりのため、交番・駐在所と町内会などが連携し適切な情報提供や防犯ボランティア活動を支援します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	市民生活課 交番からの依頼を受け、関係地域の町内会に防犯に関する情報提供を行うことにより、交番、町内会等の連携による防犯活動を実施 就学支援担当 学校を核に地域(町内会、高齢者クラブなど)と連携し、スクールガードや声かけ運動などの取組みを実施するよう学校に依頼した。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	市民生活課 特になし 就学支援担当 スクールガードリーダーの日程調整や巡回などで0.5人工 スクールガードリーダーの報酬については道費	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	市民生活課 緊急時の情報提供を受ける側の体制づくりが必要と思われる。 就学支援担当 厚田・浜益など少人数やスクールバスを利用している地域については、取組みについて消極的である。	
H20年度の取組み内容 【予定】	市民生活課 現在、2地区の防犯協会が青色回転灯の認可を得てパトロールを行っているが、他の防犯協会にも青色回転灯のパトロールを実施してもらうように働きかける。 就学支援担当 H19年度と同様	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	市民生活課 地域、各団体等の連携の強化 就学支援担当 市内全小学校区での積極的な実施	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	就学支援担当
事業名	「こども110番」いしかりサポート事業の充実	
計画体系	4 - (3) - 子どもたちを見守る体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもが被害に遭ったり遭いそうな時、一時的な保護と警察等への通報を行う「こども110番いしかりサポート」協力店舗・家庭の充実や子どもに位置等の周知活動を行い、地域で子どもを守る体制を整備します	
「こども110番」いしかりサポート事業	H11年に事故発生の未然防止、子どもたちの緊急避難場所及び警察等関係機関への早期通報を目的とし、市民に広く協力を求める事業としてスタート。登録していただいた家庭には「こども110番いしかりサポート」と記載したステッカーを配布し、玄関など見やすい位置に貼ってもらっている。H18年7月21日現在616件が登録している。	
H19年度の実績 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こども110番」いしかりサポートに関する記事を広報に掲載</li> <li>・町内会及び学校を通じて「こども110番いしかりサポート」の設置協力を依頼</li> </ul>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 ステッカーは昨年度までの残で対応 【人工】 町内会へのPR、配付手続きなどで0.2人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域により協力に格差がある。</li> <li>・子どもたちへの周知が不十分である。</li> </ul>	
H20年度の実績内容 【予定】	学校、町内会を通して広く協力を呼びかけている。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	市内全域に協力箇所を増やし、また、学校を通して、こども110番の家について子どもたちにも広く周知する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	就学支援担当
事業名	書店、コンビニエンスストア等への有害図書等の啓発 地域、関係機関、PTA等との連携による有害情報等の啓発	
計画体系	4 - (3) - 有害図書・情報の排除にむけた啓発活動	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	性や暴力等に関する過激な情報を内容とする雑誌やビデオ、インターネット等の有害サイトを関係機関・団体やPTA、ボランティア等と協力して、排除等の広報啓発活動を推進します	
H19年度の実績 【具体的内容】	関係機関、学校等で行われる会議における有害情報等に関する情報交換や有害情報等排除のための対応の依頼等	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	会議資料の作成、会議の出席など1人工で60日程度	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	有害情報等を強制して排除することはできないため、関係機関に協力をお願いするのみである。	
H20年度の実績内容 【予定】	H19年度と同様	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	関係機関とより連携を密にし、地域、関係機関等と一体となって立ち入り調査をし、排除を進めていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども相談センター
事業名	児童家庭の相談、支援体制の充実	
計画体系	5 - (1) - こども相談センターの充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	深刻化する児童への虐待等やひとり親家庭に対する相談・支援体制を充実し、さらに関係機関と連携協力体制を築き、地域と一体となった予防をはじめ総合的な支援を行います	
H19年度の取組み 【具体的内容】	相談員のスーパーバイザーとして、臨床心理士のセンター長を配置	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	センター長報酬 355,100円 × 12か月=4,261,200円 通勤手当 2,250円 × 12か月=27,000円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	さらなる相談員の専門性の向上が求められるが、資格取得や研修会(道外)参加のための予算措置が必要	
H20年度の取組み内容 【予定】	センター長のスーパービジョンのほか、研修会への参加を積極的に行っていききたい。	
スーパービジョン	熟練ワーカーが未熟練ワーカーの職務遂行能力を向上させるために、管理的機能、教育的機能、支持的機能を果たして助言指導や教育訓練を行い、解決の方策を一緒に探索していく共同の努力過程のこと	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	相談員の相談援助技術の向上が図られ、他の相談サービスとの差別化を図りたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども相談センター
事業名	児童虐待防止ネットワークづくり	
計画体系	5 - (1) - こども相談センターの充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	福祉、医療、保健、教育、警察等や地域と協力体制を強化し、虐待等の早期発見・予防や啓発活動を推進します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	要保護児童対策地域協議会の総会を実施し、事例検討を通じて関係機関の連携の必要性について情報共有を図った。	
要保護児童対策地域協議会 (再掲)	H16年改正の児童福祉法により明記された虐待、いじめ、不登校など、要保護児童等の適切な支援・保護を図るための地域関係機関により構成される協議会のこと。本市では、その名称を「こども見守りネットワーク協議会」とした。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 特になし 【人工】 0.5人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	虐待の通告義務について、一層周知徹底していくことが必要	
H20年度の取組み内容 【予定】	見守りネットの総会、ケース会議を円滑に実施していくため、実務者研修会を開催する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	虐待防止対策についての理解、協力が浸透し、ネットワークの強化が図られるようにしたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども相談センター
事業名	研修等の充実	
計画体系	5 - (1) - こども相談センターの充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	虐待等の背景は多岐にわたることから、関係職員や子どもに係る関係者に研修等を実施し、適切に対応していきます	
H19年度の取組み 【具体的内容】	実務者研修(対象:教職員、児童委員、幼稚園、保育士)を実施(サマーセミナー、民生児童委員研修(児童部会、母子父子部会)、こどもの権利を考えるフォーラムなど)	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特になし	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	参加者数や参加機関に偏りがある。	
H20年度の取組み内容 【予定】	関係機関の実務者以外にも、一般参加の研修会なども開催したい。	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	全ての機関の全職員が最低1回は参加できるよう、回数や内容について工夫していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども相談センター
事業名	ひとり親家庭等日常生活支援事業	
計画体系	5 - (2) - ひとり親家庭日常生活支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	ひとり親家庭の親等が疾病等の理由により、子育てが困難となった時に、家庭奉仕員(ヘルパー)等を派遣し一時的な家事援助や保育サービスを提供します	
母子家庭等日常生活支援事業	ひとり親家庭へヘルパーを派遣し、一時的な生活困難や育児を支援する事業。北海道から事務委託され、経費の3/4が道補助金、1/4が市町村単費	
H19年度の取組み 【具体的内容】	【H19年8月からサービス内容の拡充を図った】 ・事業の開設日及び開設時間を拡大し、日祝祭日及び午後6時～午後10時まで利用できるようにした。 ・利用開設場所の追加(ファミリー・サポート・センター内の託児ルームでの子育て支援をできるようにした。 ・子育て支援の内容について、保育所等への送迎をできることとした。 【年間利用件数等】 登録世帯 8、延べ利用回数 51回	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 奉仕派遣員委託料 562,970円 【人工】 0.1人工	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	父子家庭世帯の利用がない。	
H20年度の取組み内容 【予定】	パンフレット等を配付して制度のPRを図る。	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	母子家庭世帯の利用については、年間の利用件数が増えているが、父子家庭世帯に対しても制度のPRを検討したい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども相談センター
事業名	母子家庭への各種支援制度の周知	
計画体系	5 - (2) - ひとり親家庭日常生活支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	母子寡婦福祉資金や母子家庭自立支援給付金などの各種支援制度の活用等を周知し、社会的自立にむけ支援します	
母子寡婦福祉資金	ひとり親家庭の経済支援対策として、資金の貸付けを行う。申請や償還などの事務は北海道で実施することとなっており、市町村では面接の際の制度の説明や書類の取りまとめを行う。	
母子家庭自立支援給付金	母子家庭の母の就労支援対策として、技能習得のため指定した講習を受講するための経費の20パーセントを補助する。	
H19年度の取組み 【具体的内容】	H19年度母子寡婦福祉資金申請件数 88件 H19年度母子家庭自立支援給付金給付件数 1件	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 母子家庭自立支援給付金給付金額 2万2千円 【人力】 母子自立支援員 2人	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	母子家庭自立支援給付金に係る技能習得について、給付申請の相談件数は20件程度あったが、仕事をしながらの技能習得の困難性や仕事を休むことによる収入減少の影響があり、実際の給付申請までに至らない現状がある。	
H20年度の取組み内容 【予定】	母子家庭自立支援給付金のうち、高等技能訓練促進費等事業について、要綱を整備して制度を明確化する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	母子家庭に経済的自立に効果的な資格等について、検証して支援内容の検討する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	こども相談センター
事業名	母子家庭の就労づくり	
計画体系	5 - (2) - ひとり親家庭日常生活支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	母子家庭の母の就業を促進するため、事業所等に協力の要請や就業情報の提供等を行います	
H19年度の取組み 【具体的内容】	H19年4月から新たに母子自立支援プログラムを実施した。 H19年度 プログラム策定件数 10件	
母子自立支援プログラム事業	面接により、母子家庭の母の生活状況や課題を把握することにより、個々のニーズにあった自立のためのプログラムを策定し、ハローワークの就労支援事業に繋げるため、母子自立支援プログラム策定員を配置する事業	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	母子自立支援プログラム策定員(母子自立支援員と兼務) 1名 【人工】 0.1人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	ハローワークの就労支援事業を活用しても、実務経験が少ない母子の就職は困難な状況にある。	
H20年度の取組み内容 【予定】	母子家庭相談の中において、必要に応じて母子自立支援プログラムの策定を行っていく。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	高等技能訓練促進費等事業等を含めて、母子家庭の経済的自立に効果が高い支援方法を検討していく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課
事業名	児童扶養手当、医療費助成事業	
計画体系	5 - (2) - ひとり親家庭等の経済的負担の軽減	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	ひとり親家庭等の児童に対し、児童扶養手当や医療費を助成します	
児童扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受給資格者 18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童を監護している母または母にかわって児童を養育(児童と同居し、監護し、生計を同じくしていること)している人</li> <li>・手当の月額(所得制限あり) 1人目全部支給で41,720円、一部支給で41,710円～9,850円 2人目で5,000円加算、3人目以降1人増すごとに3,000円加算する。</li> </ul>	
ひとり親家庭等医療費助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受給資格者 ひとり親家庭や両親のいない家庭で扶養または監護されている18歳までの子と親 ひとり親家庭の親に扶養されている18歳から20歳未満の子と親(親は入院のみ)</li> <li>・助成の範囲 保険内診療の医療費のうち、自己負担限度額を超えた分を助成 自己負担額(外来) 4歳未満児又は低所得者 初診時一部負担金のみ (医科580円・歯科510円・柔道整復270円) 課税世帯 1割負担(限度額12,000円/月) 自己負担額(入院) 就学前の児童または低所得者 初診時一部負担金のみ 課税世帯 1割負担(限度額44,400円/月) H18年9月末日までは限度額40,200円/月、所得制限あり</li> </ul>	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童扶養手当を支給(受給者数 534人)</li> <li>・ひとり親家庭等の児童に対する医療費を助成(受給者数 1,670人、件数 9,814件)</li> </ul>	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	支給額 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童扶養手当 2億7千万円</li> <li>・ひとり親家庭等医療費助成 2828万8千円(1人工)</li> </ul>	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童扶養手当 生計別の認定基準の見直しを全道的に実施</li> <li>・ひとり親家庭等医療 特になし</li> </ul>	
H20年度の取組み内容 【予定】	予算額 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童扶養手当 539人 2億7千万円</li> <li>・ひとり親家庭等医療費助成 10,010件 2870万円</li> </ul> ひとり親家庭等医療費については、H20年度からは乳幼児医療費と同様、4歳以上の児童について、初診時一部負担金のみ自己負担へ拡大	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	引き続き実施	



計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども相談センター、就学支援担当
事業名	「ふらっとくらぶ」の体制整備 早期発見、予防等に関するカウンセリング等の充実	
計画体系	5 - (3) - 不登校などへの支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	不登校等への早期の対応と学校復帰の支援を行う適応指導教室「ふらっとくらぶ」を核として、専門指導員による訪問指導・相談活動を充実し、子どもや家庭を支援します	
ふらっとくらぶ	不登校児童生徒の集団生活への適応、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善のため、集団指導、個別指導により、社会的自立に資することを基本に、学校復帰を支援する適応指導教室	
H19年度の取組み 【具体的内容】	就学支援担当 指導員2名と訪問相談員1名を配置し、ふらっとくらぶに入級している児童生徒の学校復帰に向けた支援を行った。また、市内小中学校を訪問し、児童生徒の状況の確認を行い、早期に対応を要すると思われる児童生徒への支援のアドバイスなどを行った。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	就学支援担当 【経費】 ふらっとくらぶ運営費 486万9千円(人件費、消耗品費、燃料費など) 【人工】 スタッフ3人で運営	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	就学支援担当 引きこもりや家庭とコンタクトがとれない児童生徒への対応	
H20年度の取組み内容 【予定】	就学支援担当 H19年度と同様のスタッフ体制で運営。基本的な運営は変わらないが、個別の児童生徒の状況に応じた、きめ細やかな支援を強化する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	こども相談センター 不登校児童の支援について、連携を図っていきたい。 就学支援担当 学校復帰を基本としながらも、学校復帰が難しい児童生徒にとっても安心して通える居場所となり、学校復帰の足がかりとなる居場所として確立する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	就学支援担当
事業名	スクールカウンセラー等の配置	
計画体系	5 - (3) - 学校を核とした悩み・相談への支援体制の拡充	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	学校にスクールカウンセラー等を配置し、児童生徒や保護者などが抱える悩み・相談を行います	
スクールカウンセラー	H7年より文部科学省にて不登校や問題行動の未然防止、早期発見、早期解決のため心の専門家であるスクールカウンセラーの配置を進め、当初は全国の中学校に配置する予定であった。現在石狩市では、花川中学校、花川北中学校、花川南中学校、樽川中学校の4校に配置し、それぞれの中学校区の小学校も担当している。	
H19年度の取組み 【具体的内容】	花川中学校、花川北中学校、花川南中学校及び樽川中学校にスクールカウンセラーを、石狩中学校に心の教室相談員、南線小学校に子どもと親の相談員をそれぞれ配置	
心の教室相談員	スクールカウンセラーが配置されていない石狩中学校と厚田・浜益区の中学校を担当している相談員。臨床心理士ではないが、相談員等又はそれに準ずる経験・経歴があるものを採用し、子どもたちの悩みの解消に対応している。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 266万2千円(スクールカウンセラー、相談員に対する費用) 花川中、花川北中、花川南中のカウンセラーについては、北海道から直接報酬が支払われている。	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	市内全小中学校に常勤のカウンセラーを配置できることが望ましい。	
H20年度の取組み内容 【予定】	H19年度の配置校の他、紅葉山小学校にもスクールカウンセラーを配置。また、3人のカウンセラーが未配置中学校のほか、担当校区の小学校についてもカバーする。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	市内全中学校への相談員の配置	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	就学支援担当
事業名	子育て支援事業の充実	
計画体系	5 - (3) - 学校を核とした悩み・相談への支援体制の拡充	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	問題行動への対応や学習へのつまずきを支援するため、学校を核とした地域で見守り育てるシステムづくりを充実します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・学級復帰を目的とした支援を指導員が行う「自立支援教室」を樽川中学校及び花川北中学校、花川南中学校の市内3中学校に設置</li> <li>・子どもに関係のある機関がそれぞれ行うことができる支援について協議を行う「サポートチーム協議会」については、必要に応じて随時開催することとした。H19年度は開催なし</li> </ul>	
自立支援教室	H16年度より、文部科学省の委託事業である「問題行動に対する地域における行動連携推進事業」を受け、花川北中学校に4名の指導員を配置しスタート。あそび・非行型の不登校生徒や問題行動を起こす生徒を対象に学校・学級復帰、立ち直りを目的とし別室にて指導員が支援を行う。	
サポートチーム協議会	自立支援教室と同様にH16年度より文部科学省の委託事業を受け取組みを開始。いじめや暴力行為、非行といった問題行動を起こす生徒を対象として、学校のほか警察、児童相談所など関係機関が問題解決に向けどのような支援ができるかを協議し、その対象生徒を支援するサポートチームを編成し、具体的な支援を行っていくことを目的とする。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>【経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員2名分の謝金 86万円</li> <li>・その他5名分の指導員の謝金等は文部科学省の委託金</li> </ul>	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	非行型の不登校の生徒などは学校へ来ることが少ないことから、生徒との関係づくりが困難である。	
H20年度の取組み内容 【予定】	H19年度同様、市内3中学校(樽川、花川北、花川南)に自立支援教室を設置し、問題行動を起こす生徒や不登校傾向の生徒への支援を行うが、他の学校についても児童生徒の状況に応じ、指導員を派遣するなど臨機応変に対応していく。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	H20年度より文部科学省において事業実施を開始するスクールソーシャルワーカー事業に包括し、様々な問題を抱えた児童生徒や家庭への支援を実施していく。	
スクールソーシャルワーカー	虐待や育児放棄、経済的な困窮など深刻な問題を抱える家庭の保護者や子どもに対し、専門的な見地に対応するために、文部科学省が、平成20年度から公立小中学校で活動する「スクールソーシャルワーカー」を全都道府県に配置することを決定。スクールソーシャルワーカーの主な役割は、学校と関係機関との仲介であり、深刻な問題を抱えた保護者や子どもの実態を把握した上で、個々の状況に応じ福祉施設や警察、ボランティア団体などに協力を要請する。また、生活保護や就学援助の申請手続きを助言することなども想定している。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課
事業名	ボランティア活動やNPOを活用した社会参加・参画	
計画体系	6 - (1) - 地域やNPO法人等の協力による地域活動への参画の推進	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	地域の人材やNPO等の協力でボランティア活動等を通して、子どもの主体性や地域性を養います	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<p>こどもまつり・子育て支援メッセ2007を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的: 次代を担う子どもたちが社会体験の場を通じ自ら“まつり”を作るとともに、子育て・子育て支援に係わる者、団体等が一同に会し交流することにより、石狩市のまちづくり・ひとづくり寄与することを目的とする。</li> <li>主催: こどもまつり・子育て支援メッセ2007実行委員会 (構成: NPO法人こども・コムステーション・いしかり、石狩市地域子育て支援センター、子育て支援ワークショップママ、浜益青年会、コープさっぽろ石狩エリア委員会、こども英会話のミネルヴァ、石狩市食生活改善推進委員会、石狩市(健康づくり課、子育て支援課)、石狩市教育委員会(公民館))</li> <li>協賛: ホクレンパールライス工場、コープフーズ(株)石狩工場、(株)ポーネルド札幌営業所、コープさっぽろいしかり店、こども英会話のミネルヴァ</li> <li>日時: 10/27(土)、28(日)10時～15時</li> <li>場所: 花川北コミュニティセンター</li> <li>内容: こども商店街、シーバルワークショップ、アニメワークショップ、おもちゃフォーラム、英語であそぼ、赤ちゃんハイハイ競争、ステージ発表、子育て子育て応援ブース ほか多数</li> <li>来場者数: 10/27 約400人、10/28 約300人</li> </ul>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>【経費】 こどもまつり講師謝金 5万円</p> <p>【人工】 0.19人工</p>	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	東京・こどもの城や世田谷チャイルドライン、こども英会話のミネルヴァなどの協力を得て、新たな企画が実施できたが、一過性の事業に終わらず、継続的な協働スタイルを確立する。	
H20年度の取組み内容 【予定】	こどもまつり・子育て支援メッセ2008の開催については、子育てネット会議において、関係団体と企画段階から協議中。10月25日・26日開催予定	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	「こども商店街」の取組みが、子ども主体の事業となるよう、スタッフの養成などが求められる。	

計画での予定年次 / 担当課	平成19年度(新規)	子育て支援課、児童館
事業名	児童館等の中高生等への開放事業	
計画体系	6 - (1) - 地域やNPO法人等の協力による地域活動への参画の推進	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	児童の健やかな育成の拠点施設の一つである児童館や公的施設を見直し、子どもが自主的な活動ができるよう支援します	
H19年度の取組み 【具体的内容】	<p>子育て支援課</p> <p>いしかり子ども総合支援会議思春期部会で中高生の居場所づくりについて検討を行った。</p> <p>児童館 特になし</p>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>子育て支援課 直接経費は些少のため補足せず</p> <p>児童館 特筆すべき経費等はなし</p>	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<p>子育て支援課</p> <p>中高生の居場所といったときに、スペース的なものか心の居場所が必要なのかなど、まずは中高生のニーズ把握が必要と思われる。</p> <p>児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中高生の利用に適した施設整備</li> <li>施設整備等の財源確保</li> </ul>	
H20年度の取組み内容 【予定】	<p>子育て支援課</p> <p>市内中高生を対象に居場所に関するアンケート調査を実施する。</p> <p>児童館</p> <p>現状では施設等に課題があるため、いしかり子ども総合支援会議などで議論をしていただきながら方策を講じていきたい。</p>	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<p>子育て支援課</p> <p>中高生の居場所に関するアンケート調査の結果を踏まえて、中高生にとってどのような居場所が必要なのか検討していく。</p> <p>児童館 施設整備の検討</p>	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課
事業名	子どもに関する権利条約等の普及・啓発 子どもに関する権利条約のセミナー等の開催	
計画体系	6 - (2) - 子どもに関する条約等の普及、啓発	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの基本的人権の尊重を目的とする「児童の権利に関する条約」や子どもに係る法律等の周知・啓発活動などを通じて、多岐にわたる子どもを取り巻く問題から、子どもの主体性を育み・守っていきます	
児童の権利に関する条約	1989年の国連総会において採決された条約。特徴としては、これまで単なる保護の対象であった子どもが権利の主体として認められ、子どもに意見表明権を保障したところにある。この条約に批准した国は、必要な立法措置、行政措置その他の必要な措置を講ずることが定められており、条約規定遵守の義務を負う。日本では1994年から発効となった。	
H19年度の取組み 【具体的内容】	・子育てネットマガジンに6月から8月まで子どもの権利のコラムを掲載 ・まちづくり出前講座に「知ろう！子どもの権利」をメニュー化し、各方面に招聘をPR	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 特になし 【人工】 0.05人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	内容の課題というよりも、啓発の機会をどう設けるかが一番の課題。出前講座化して各団体に研修会等での利用をお願いしたが、結果として申込みはなかった。団体としても取っ付きづらい研修テーマであることが率直なところと考える。	
H20年度の取組み内容 【予定】	子どもの権利の普及啓発だけを目的とした事業ではなかなか進展が望めないことから、環境や平和など、子どもの権利と関連性の高いイベント等に加わって普及啓発を行うことを試みる。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	近隣自治体において子どもの権利に関する条例策定の動きが活発化しているが、今後は、広域的な連携も視野に入れた取組みも考えて行く必要がある。	